

## 第4回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会

日時：令和4年12月15日（木）

午前9時30分～11時30分

場所：金沢区総合庁舎 5階1号会議室

### 議事次第

#### 1 開会

#### 2 議事

- (1) 第3回委員会での議論内容の確認
  - ・第3回委員会の振り返り
  - ・第3回委員会議事録（案）の確認
- (2) 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想 答申（案）について
- (3) 金沢区区民文化センターニュース第4号（案）、第5号（案）について

#### 3 閉会

### 資料目次

資料1	第3回委員会での議論内容の確認 1. 第3回振り返り / 2. 第3回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 議事録（案）
資料2	横浜市金沢区における区民文化センター基本構想 答申（案）
資料3	横浜市金沢区における区民文化センター基本構想 答申（案） 概要版
資料4	金沢区 区民文化センターニュース 第4号（案）
資料5	金沢区 区民文化センターニュース 第5号（案）
別紙1	横浜市中期計画 2022～2025（原案） 抜粋
—	金沢区 区民文化センターニュース 第3号

## ●第 3 回委員会での議論内容の確認

### 1 第 3 回委員会の振り返り

#### (1) 全体に関する内容

##### 重視する視点の背景に関する意見

- ・ 重視する視点の背景の部分に、金沢区にとって重要な位置づけにある「海」というキーワードを入れることを検討してほしい。(鈴木(達)委員)

##### 施設全体における配慮事項に関する意見

- ・ 施設全体における配慮事項については、小見出しなどをつけて、項目ごとに整理して分かりやすくした方が良い。(三輪委員)

#### (2) 「望ましい機能」について

##### 活動支援等に関する意見

- ・ 作業に使える事務サポートの機能があると良い。(鈴木(達)委員)
- ・ 「活動支援」というようなキーワードがはいると良いのではないか。(北原委員)

##### 項目の整理等に関する意見

- ・ 「区民の文化・芸術の活動・発表・交流」から想定される機能である「文化・芸術の情報発信や交流」と「気軽に文化・芸術に触れられる『とまり木』機能」から想定される機能である「文化・芸術の情報発信や交流」は、対象者が少し異なるので、明確にその違いを書き分けて表現した方が分かりやすい。(三輪委員)
- ・ 「金沢区らしい文化・芸術、歴史・文化等の魅力発信」という項目は、文化が二度出てくるので、表現を整理した方が良い。(三輪委員)

#### (3) 事業（施設）運営の方向性について

##### 情報発信に関する意見

- ・ 若者を含めた様々な区民に知ってもらうためには SNS (TikTok、YouTube 等) の媒体を利用した情報発信が欠かせないので、機能としてあるべきではないか。(浅葉委員)

##### コーディネーター等に関する意見

- ・ 施設間の連携や共同企画開催等に関するコーディネーター機能が重要である。(鈴木(達)委員、阿部委員)
- ・ コーディネーターについてはジェネラリストを求めるのではなく、文化・芸術分野のスペシャリストの配置や連携・協働で実現していくことを示した方が良い。(北原委員)

##### ソーシャルインクルージョンに関する意見

- ・ 外国人の対応については、やさしい日本語で対応するという事が大切であるという考え方にシフトしてきている。(赤江委員)

#### 項目の整理等に関する意見

- ・ 魅力発信としての連携、すみ分けという事と、施設間をマネジメントするような連携企画・運営という事は、分けて表現した方が良い。(三輪委員)

### (4) 施設機能・構成について

#### 施設全体の設え等に関する意見

- ・ まだウィズコロナの時代でもあるので、来館者の安心・安全を考えて、換気や消毒に関する配慮事項も必要ではないか。(北原委員)
- ・ 活動支援に関しては、印刷できる機能があると便利である。(北原委員)
- ・ 全館で Wi-Fi を利用できるようにした方が良い。(赤江委員)
- ・ 搬入口やバックヤードの動線については、段差がないという事が非常に重要である。(赤江委員)

#### 屋外スペースの設え等に関する意見

- ・ エントランススペース等のグランドレベルの設計が非常に重要である。また、植栽デザインについてもアートに関わる点で重要であると考えられる。(北原委員)
- ・ 屋上スペースは、屋外でのミーティングができるような設えがあると、カフェ的に利用できるのではないかと。(北原委員)
- ・ 建物にプロジェクションマッピングができると面白いのではないかと。(阿部委員)

#### カフェのようなコミュニケーションを促す運営や設え等に関する意見

- ・ カフェという言葉が出てくるが、これは商業的なカフェを想定しているのか。自動販売機があつて立ち寄れるくらいのエリアであればイメージが違うのではないかと。(鈴木(達)委員)
- ・ 自動販売機があるだけでは交流する場にならない。商業的なカフェという意味ではなく、交流の場にお茶などを飲んで休める機能があるべきということ。(鈴木委員長)
- ・ 例えば、スタッフが飲み物を提供するときにコミュニケーションや会話が生まれる。それがまさにとまり木機能であり、相談するきっかけになる役割として飲み物を共有しあうということがカフェ機能という表現であると思う。(三輪委員)
- ・ 文化施設を利用しない人たちにも使っていただくことを考えると、コミュニケーションをつくる場としてカフェ的な機能があつた方がよいのではないかと。(鈴木委員長)
- ・ イギリスの劇場では一番いい場所にカフェがある。そこには、観劇前に食事をしたり、待ち合わせをしたりと様々な人が来ている。(赤江委員)
- ・ 自動販売機の場合は、催しがない時は人が集まることはない。カフェのようなものがあると、それを目的に来る人もいるので、そこで交流が生まれたりする。(赤江委員)

#### 各諸室の設え等に関する意見

- ・ 音楽多目的室では、客席と舞台に高低差ができる設えが良い。(阿部委員)
- ・ オストメイトや介護者が一緒に入れるようなみんなのトイレを整備すると良い。(赤江委員)
- ・ 鍵が掛けられるなど、安心して利用できる授乳スペースがあると良い。(阿部委員)

## 2 第3回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 議事録（案）

第3回 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 会議録	
日 時	令和4年11月14日（月） 13時～15時
開催場所	金沢区総合庁舎 5階1号会議室
出席者	<p>【委員】 赤江直美委員、浅葉弾委員、阿部きみえ委員、北原まどか委員、鈴木達洋委員、鈴木伸治委員長、三輪律江委員、横井正巳委員 （9名中8名、委員は五十音順）</p> <p>【事務局】 金沢区副区長、金沢区区政推進課長、金沢区地域振興課長、文化観光局文化振興課、株式会社山手総合計画研究所 ほか関係職員</p>
欠席者	津軽石昭彦委員
開催形態	公開（傍聴者1名、報道1名）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第2回委員会での議論内容の確認</li> <li>2. 基本的な方向性について</li> <li>3. 施設機能・構成について</li> <li>4. 金沢区区民文化センターニュース第3号（案）について</li> </ol>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第2回委員会の議事録</li> <li>2. 基本的な方向性について</li> <li>3. ニュース3号（案）の決定</li> </ol>
議 事	<p><b>1 開会</b></p> <p>副区長 挨拶 本日は、委員の皆様方にはご多忙のところ、ご出席いただきましてありがとうございます。これまで2回の委員会におきましては、金沢区らしい区民文化センターとするべく、本当に活発なご議論をいただきました。改めて感謝を申し上げたいと思います。活発なご議論をいただいたことで、基本構想全体を明らかにできつつある状況に来ているのかという風に思っております。検討委員会は、本日も含め、残すところ2回となります。これから最終的な詰め段階に入りますので、引き続き、活発なご議論をお願いしたいと思います。本日はどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>区政推進課長 本日の資料（資料1・資料2・資料3・資料4）</p> <p><b>2 議事</b></p> <p>鈴木委員長 それではこれより議事に入ります。 まずは議事の1、<u>第2回委員会での議論内容の確認</u>について、事務局から資料の説明をお願いします。</p> <p>事務局 資料1について説明</p> <p>鈴木委員長 いま説明いただいた<u>第2回委員会の振り返りと議事録案</u>については、ご自身</p>

の発言を中心に確認いただき、修正が必要でしたらご発言ください。

一 同 (意見なし)

鈴木委員長 なかなかその場で確認するのは大変かもしれませんので、特にご意見ないようでしたら、この後の資料2の修正点などとも関連しますので、また最後にもう一度確認をさせていただきます。もし修正が必要と思われる部分がありましたら、その時にご発言いただければと思います。

一 同 (異議なし)

鈴木委員長 それでは、議事の2 金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性について、に移ります。事務局から資料の説明をお願いします。

事務局 **資料2**について説明

鈴木委員長 確認ですが、前回の委員会までに、1.コンセプト、2.重視する視点は確定しています。今回、3.望ましい機能、4.事業(施設)運営の方向性については、前回委員会の意見交換を基に修正しています。本日は、3と4の部分について議論し、金沢区における区民文化センター整備の基本的な方向性を決めていきたいと思います。

それでは、まず3.望ましい機能について議論したいと思います。

鈴木(達)委員 戻ってしまいますが、重視する視点のところ、我々の仲間から金沢区の海という視点が入っていないのではないかという指摘がありました。昔から海苔やシャコが捕れたなど、漁業というような点で発展があります。それに、交通の要衝という役割も果たしてきているということです。金沢区にとって海というのは、非常に重要な位置付けにあるのではないかということです。できれば、産業的な意味での位置付けというのを少し入れてもらった方がいいという意見がありました。少しキーワード的に入れていただければなという風に思いました。

鈴木委員長 具体的には視点1のところでしょうか。

鈴木(達)委員 はい。視点1の背景の説明がありますが、海には豊富な資源があることや交通としても大きな役割を果たすといった、産業も含めて発展している場所があるというようなことを少し入れていただければと思います。

鈴木委員長 事務局としてはいかがでしょうか。

区政推進課長 海をイメージさせるような視点というところで言いますと、視点1の中には当然、含んだ形での想定はしております。また、情報発信コーナーの中では、金沢区が持っている地域特性、歴史・文化の特性、観光情報等において、しっかりと発信していくという想定のもとに、資料の方に書かせていただいております。

鈴木(達)委員 もう少しここに具体的に落とし込んでいただければ、具体的に施設を考える時にも、少し頭に入れていただけるのかなと思います。当然入っている

というご説明なのですが、文言として入れてもらえればいいなという希望があります。

鈴木委員長 それでは、3.望ましい機能の部分についてご意見をお願いします。

鈴木(達)委員 普段我々が区の施設を使わせていただくと、印刷機、コピー機など会議の準備をしたりする時に、作業できるようなエリアやそういう機器を使います。我々としては、例えばパソコンも備えてもらって、印刷機能もあったりすると助かります。そのような、バックヤード的な設備ということにあまり触れられていないので、その部分はどのようなのでしょうか。

区政推進課長 本日は、機能的なところを議論いただきまして、全体としては各諸室や付属室等を踏まえたところでの議論の中で、整備の指標というものを今回の場ではご意見をまとめていただきたいと思いますと思っています。今後の詳細の設計等、使用条件等は中々決め切れるものではございませんので、議論としては全体の指標みたいなところまでをご議論いただきたいと思いますと思っています。

鈴木(達)委員 トータルの事務サポートみたいな、団体が使う時の事務、サポート的機能など。そういう感じで、少し折り込んでいただけるといいのかなと思えました。

鈴木委員長 具体には、この視点2・3・4の区民の文化・芸術活動の発表、交流といったところになるでしょうか。実際に作業できるように。会議室でもそういうことは可能かとは思いますが。

鈴木(達)委員 いろいろな機器を少し揃えてもらいたいというようなところをイメージしてもらえればと思えました。プロジェクターを貸していただくとか、何台用意するとかそういう議論はないのでしょうか、そういうことも配慮しているという意識をどこかに書き込んでいてもらおうといいかなと。

鈴木委員長 その他、望ましい機能についていかがでしょうか。

浅葉委員 ここで言うべきことかわからないのですが、発信する手法として、施設やそこでの活動などのことについて、いかに若者を含め区民に知ってもらうかが大切。通行する人は当然見ればわかると思いますけど、通行しない人にとってどうやってわからせるか。情報発信として、やはり今流行のSNS、TikTok、YouTubeとか、そういう情報発信方法があると思いますが、そういう媒体で発信することは話題作りに欠かせないと思うんです。そこについて、やっぱりある程度機能としても書くべきなのかなとは感じました。そのような機能がここあって欲しいなと思えました。

鈴木委員長 多分これは事業(施設)運営の方向性のところで、そういうSNSとかを使って、情報を発信していくというところは入ってくるのかなと思います。その他いかがでしょうか。

三輪委員 前回ご指摘したところについて、皆さんで議論したところがだいぶ整理さ

れて、重視する視点からのイメージみたいなものは取りやすくなったかなと総論としては思います。

今の話聞いていて、想定される機能の部分の上から5つ目の文化・芸術の情報発信や交流と、その下の文化・芸術の情報発信や交流というのを、少し表現を変えても良いのかなという風に思いました。例えば、視点2、3、4の方にぶら下がる想定される機能というのは、どちらかというとすでに活動している方々向けのやり取りのことを指しているのかなと思いました。そうすると、先ほど浅葉さんが話したような対外的な話や「とまり木」というイメージで言うと、もっと広げていく相手が違う情報発信や交流だと思うので、ここの想定される機能の2つの文言は、少なくともイメージを変えておいた方がいいんじゃないかなと思いました。それで言うと、先ほど鈴木(達)さんがおっしゃっていた内部でやり取りするために必要な情報交流みたいなものに、情報コーナーの部分にワークステーションみたいなものを一言入れとくとかはどうでしょうか。つまり、上から5つ目の文化・芸術の情報発信や交流の想定されるスペースの中に、内部の皆さんの団体の活性化と仲間が決まっていくようなための情報コーナーとワークステーションみたいな書き方で。下の方はどちらかという、自分たちの活動がもう少し広く発信していくための情報発信や交流とそのためのサポートの場づくりという意味で。今は、ここの部分の文章的には被っているようなので、もう少し明確にその違いを出せば、整理できるのかなという風に思います。

あともう一つ、望ましい機能の1番上の金沢区らしい文化・芸術、歴史・文化などというところは、こうこういう書き方なのでしょうか。文化が2回出てきていて、セットになっているのは分かりますけれども、少ししつこいという印象を持ったので、少し整理されても良いかなと思いました。

鈴木委員長 確かに言葉として重複している部分ありますし、書き分けて問題なく狙いははっきりする部分もあると思うので、整理する必要があるかもしれないですね。

北原委員 先ほど鈴木(達)委員がおっしゃったこと言葉をまとめると、おそらく「活動支援」みたいな言葉が入ると良いのかなと思いました。今、三輪先生のお話にもありましたけど、想定される機能で文化・芸術活動の情報発信や交流が視点2、3、4のところと1つと、視点5のところと1つあって、それが対外的なものなのか、どちらかという区内の団体の活動支援に関わる情報発信なのかということが、明確に置き換わってきやすくなるだろうなという風に感じました。想定されるスペースとして、文化・芸術活動の情報発信や活動支援みたいなものが一言入るだけで、先ほどおっしゃられたプロジェクターやコピー機などの機器、そういう機能として包

含めるような言葉になってくるかなと思いましたが、意見としてお伝えできればと思います。

鈴木委員長 確かに、活動支援というような部分については、この文言上は出てこないですね。前後の文章見てみると、そういったもの想定されるかもしれないですけど、この辺りはきちんと前面に出しても良いのかなと思います。

それでは、4. 事業(施設)運営の方向性についてはいかがでしょうか。先ほどすでに SNS での情報発信というような話も出ましたが、その他はいかがでしょうか。

鈴木(達)委員 せっかく先生たちもお見えなので、教えていただきたいことです。例えば、金沢公会堂、地区センターとも連携したハブ機能というようなキーワードと、色々なところとマッチングしましょうというような表現があるのですが、具体的に先進的な事例や資格などはあるのでしょうか。我々としては、いつも普段の活動をしていて、そういう点にギャップを感じているんですよね。地区センターと公会堂などがうまく連携できれば、面白いことできそうだなと思ったりする時もあります。しかし現状では、それぞれの指定管理者がいらっちゃって、そこがいろんなルールを持っておられて、なかなか横の連携というのが、もう一つ無いなというような感じを受ける時もあります。きっと、裏では努力しておられるんだと思うんですけども、そういうことで、事例とかあるいは、資格やコーディネーターといった例があれば、教えてもらいたいなと思いました。

鈴木委員長 先に私の方から少しコメントさせていただきます。例えば、大きな劇場とセットで小さなスペースを複数抱えているような大きな文化センターのような場合には、大きな舞台の練習が小さな部屋でもできるようになっているという風に連携して計画を作っていきます。だから、大きい晴れの舞台の練習を、個々の部屋でできるようにしておくということです。そうすると、例えば公会堂を借り切って地元の方の方が何回も練習するというのはあり得ないですから、それと同じような練習がもし区民文化センターでできたらということが連携するということだと思います。公会堂で晴れの舞台をやるための練習を区民文化センターでやりましょうということもできるとは思います。当然、指定管理者になるので、選んだ時に一緒になるかどうかってわからないんですけども、まず、ハード的にはそういうところはきちんと抑えていく必要があるのかなと思います。あとは、例えばそういう施設間の連携でいうと文化施設ではないですが、南区ではコミュニティハウス、地区センター、それからケアプラザといったところが、お互いにイベントについて情報交換するような組織を作ったりしています。おそらく市内各区で色々そのような取り組みをやっている



ところもあると思います。ところが、それは市民活動支援のコーディネーターさんが各区に配置され、その人たちの個人的な繋がりで行っているような部分も若干あります。そういった施設間の連携というのは、施設ができたなら、それを機に金沢区内の施設で連携する仕組みを作りましょうというようなことを、ここで提案していくこともあると思います。

それから、それ以外のところについては赤江さんが前回少しご説明いただきましたけど、施設間の連携の例ということで、もう一度少しコメントいただけますか。

赤江委員 この前少しお話しさせていただいたのが、例えば私どもは神奈川県民ホールという非常に大きな2500席の大きな劇場を持っています、私たちの自らのオペラの制作というのもしています。そこではもちろん、神奈川フィルの様なオーケストラをお願いして、大きな舞台を作っています。例えば、他の区民文化センターではタイアップをして、区民文化センターでは大きなオペラは作れないけれども、例えば、蝶々夫人をそちらでやるのであれば、子供向け蝶々夫人を企画して、地元の子供たちや区の出身のアーティストを起用して、一つ舞台を作ります。それでお互い連携をして、例えばチケットを安くしてお互い売るとか、チラシと一緒に載せて関連企画ってということで、区民文化センターの方とも一緒にやるんです。それで、安く見に来て、もっと興味があれば県民ホールに行ってねとかで、あとお子さんいらっしゃる場合は、まず区民文化センターに行ってくださいとか、そういう連携をしています。そういったコーディネートの専門資格というのはないですけれども、そういった経験を積み重ねたスタッフがお互い連携し合っ、お互い行き来をするというようなことをしています。あとは、県内の様々な地域で巡回公演みたいなものをやります。県西地域の方では、そこでミニオペラみたいな企画を持っています。そのピアノ伴奏で曲をヘンゼルグレーテルにして地域の子供たちに知ってもらおうとした時、地域の子供もたちで合唱をしている拠点になっている劇場と連携をしながら、いつもやっている児童合唱団があるよという話から詰めていって、そちらに私もお挨拶に行き、児童合唱のお子さんたちとせっかくなので一緒にやりましょうとしています。それで、こちらから先生を派遣して、一緒に何度かワークショップをやって、本番と一緒に出てもらう。そうすると、地域の親戚の方や友達が皆さん見に来てくださるというような、そういった連携というのも一つの例かなという風に思っています。

鈴木(達)委員 そういう気のまわる人が個人的にうまくやっているイメージもあるんですけど、そういうものを、この区民文化センターの中で機能を持とうということになると、そういうことを意識した人を置いておくというようなことが、この議論の中では前提になると思うんですけどね。

鈴木委員長 専門人材の配置というところで、コーディネーターの人材を配置すると書

いてあるので、答申に盛り込まれていると施設管理者を募集する時にもコーディネーターを配置するという提案を、指定管理者の応募団体はしてくると。そういう人材を置いてもらうためには、ここに文章を盛り込んでいた方がいいと思います。

鈴木(達)委員 僕自身が個人的に感じることは、指定管理者がそういうことを言われても、隣の地区センターにはまた別の指定管理者がいて、そんなの知らないよみたいな感じになったりするのではないかと懸念します。そういう意味で言うと、もう一つお立場が上の公務員の方、市職員の方とか、そういう方が担うような役割じゃないのかなと思うんですけど、その辺はどうなんでしょうか。

赤江委員 実体験としてお話をさせていただきます。今おっしゃったところは、館長クラスとか偉い方同士や理事長同士でお話しするよりも、現場の職員同士が話した方が早いです。私自身も、横浜・臨海地域で劇場のご近所付き合いみたいなものを事業担当者で声を掛け合っています。近隣の文化施設に声をかけて、みんなでお話ししましょうと言って集まりを持ったりなど、事業担当者でやっているんです。そこが非常に有効で、現場で仕事をしてる人たちの問題点ですとか、もっと協力し合おうとか、広報のお金がないんだから、みんなですべてのチラシを作ったこともありました。非常に自然発生的に、現場の職員の方がうまくいくことが多いんです。そこから上をそれぞれ説得していく。割と気軽に、それが実行できるという経験は何度か持っています。

あともう一つは、私が今事務局長をやっている神奈川県公立文化施設協議会というのがあります。区民文化センターも全部ではないですけど、入っていただいているところも多いです。そこで、定期的なコミュニケーションを取ったりですとか、会合したりですとか、みんなが集まって研修をしたりしています。それから施設見学会や事業見学会というのを年間にわって様々ご用意しているんですね。それで、何かちょっと困ったことがあると普段から相談したりなど、ネットワーク作りというのを一生懸命やっているところです。風通しは良くなってきているところです。

ご質問の件ですが、上の方よりもむしろ、現場の方同士の関係にとっていい環境を作っていかなければいけないのではないかなと思います。

鈴木(達)委員 浅葉さんとか阿部さんは、色々ご経験されていて感じるどころあるんじゃないかなと思うんですけど、どうでしょうか。

阿部委員 実際、私が金沢区で色々活動とか取材を通して感じたことですが、金沢区には地区センター、コミュニティハウス、あと公会堂と長浜ホールがあるんですが、やはりそれぞれが独立してしまっているといつも思います。各センターとか公会堂、ホールが独自に企画を立てて自分たちでコンサートをやったり色んなことをやったりしていると思う中で、金沢区民活動セ

ンターでは、色んな所とコミュニケーションを取って共同企画を立てています。区民活動センターとコミュニティセンターでは、毎年1年に1回ですけども、共同企画で、『街の先生』ですとか所属団体がいろんな事を企画してやっています。ただ、せっかく良い企画なんですけど、協力してくれるコミュニティセンターが少なくて、毎年抽選になっています。それは、応募がたくさんあるにもかかわらず、できる団体は10団体しかなくて、一生懸命活動したいなと思っていても、協力してくれるところが少ない。地区センター、コミュニティセンター、公会堂、そして今度できるであろう区民文化センターで、やはりコーディネートをする人や団体が必要だと思います。区民活動センターの皆さんがすごくいい位置にいらっしゃるんじゃないかなと思っていますので、その中でコーディネートをする方も区民の中から選ばれて、一緒にやりましょうという手を携える方がいらっしゃる方がいいなと思っています。本当に金沢区は、活動する皆さんとか団体が非常に多いにも関わらず、なかなかそのチャンスが回ってこないんですね。そういった意味でコーディネートする人、団体が少ないような現実を私は感じております。

浅葉委員 僕は具体的に金沢文庫芸術祭の例なんですけど、やっぱり個々に、別々でお願いしてやりました。ただ、今ちょうど別件で栄区の区民文化センターリリースの企画に関わっているんですけど、その企画で昨日長浜ホールでやって、あれ、繋がってんじゃないんってということがわかって意外だったんですよ。そう考えると、知らないけど実は繋がっているってあるんだなと、昨日まさに感じたんですね。そこを知る場所があると嬉しいなとは感じました。でも、基本的には1か所1か所にちゃんと届け出を出してやって大変でした。

鈴木委員長 少し補足をすると、区民活動支援センターには、コーディネーターの方がいらっしゃるんですね。その任期は確か以前は5年までで、5年経ったら変わらなきゃいけないというのがあったんですけど、それだとやっぱりノウハウ(know how)というよりノウフー(know who)と言うか、誰がこんなことをやっているというのを知ってるということが大事なので、それで5年の任期が伸びたという風に記憶しています。

別の話になってしまいますけど、今、横浜市が立てている中期計画の中でも、市民協働の仕組みの中で各区ごとにそういうコーディネートする仕組みを作っていくというのに入っています。ここにコーディネーターの方が配置されて、区民活動支援センターや他の公共施設の方と、定期的にちゃんと顔をあわす機会を持つとか、意見交換の機会を持つというような仕組みがちゃんと出来上がってくると、状況は改善されていく部分もあるんじゃないかなと思います。これは、区民文化センターだけでできることではないと思うので、区の方のコーディネートが必須だと思います。

その他はいかがでしょうか。事業(施設)運営の方向性については、先ほど浅葉さんの方から SNS などの情報発信の話が出てきています。また、ここにも活動支援という言葉も入れてもいいというような気もいたします。それから鈴木(達)委員、阿部委員からご指摘いただいたコーディネート的重要性は、コーディネート人材の配置というところでしっかりと入れていくべきかなと思います。その他いかがでしょうか。

三 輪 委 員 1 番上の金沢区の特性を踏まえた文化・芸術活動拠点というのが、他に比べて、何を指しているかわからないタイトルだと思います。事業運営の方向性なので、金沢区の特性を踏まえたというのは視点1から入ってくるので、歴史と文化、魅力発信みたいなものではないか。1つ目のポツはわかるんですが、2つ目のポツはもしかしたら下じゃないのかなと思って聞いていたんです。何でかという、金沢公会堂と金沢地区センターが前面に来ていて、文化としてこのエリアだけの話になっていて、金沢区の特性っていうと、もっと別の地区センターあるいは長浜ホールもそうなんですけど、そういう周辺全体、金沢区全体の関連すべき施設との連携みたいなところだったら、ここに入るのかなと思ったりしました。むしろ、センター機能としての役割の発揮っていうところで、金沢公会堂と金沢地区センターというのは、どちらかという文化・芸術の発表の場とかをする専門的な場だと思うので、そういう意味でのセンター機能っていう方がじっくり来るのかなと思いました。

あとは例えば、ケアプラザでは調理室があって、そこで歌声喫茶をやったりしている。そういう人たちが、ある時発表したいとなった時に、ここでずっと練習してんだけど、やっぱり晴れの場合はここだよ、と。その流れは、地域ケアプラザのコーディネーターの人にも見てほしい案件かなと思うと、もしかして運営じゃないかなと思ったんですね。その1つ目の視点1の金沢区らしさ魅力発信の方になったら、そういう別の分野の関係の機能、その文化交流に付随する別の分野の場の活用だったりとか、そことの連携すみ分けみたいなものを書くのだったら上の箱、少し近隣までマネージメント的な発想するような意味での連携企画だったら、2つ目のセンター機能としての役割みたいところに落ち着いた方が良いのではないかな。大事な話なので、両方あってもいいかなと思いました。

鈴木(達)委員 多様な立場の人が興味を持ち、参加しやすくするって議論がありますが、他言語な多文化な人たちっていう言い方なのかかわからないですけど、そういう人たちもちゃんと迎えるような施設にしましょうというのはどのようなことを求められるのでしょうか。直観的に言えば、多言語を理解するよ

うな人を置いておくとか、そういうようなことも前提にあるのかなとも思ったんですけど、その辺までこう考えるようなことをこの区民文化センターの中で議論できるのかなと。そういうギャップを色々感じる場面は多いのであれば、とっていいなと思うんですが、その辺のところも他の事例とか、県内の施設でそういう人たちを配置しているとか、こんな工夫をしているというような事例があれば、教えてもらえればと思います。

赤江委員 私たちも横浜市にある施設ですので、外国人の方に非常に多く来ていただいています。今多いのは、西洋人というよりもアジア系の方が非常に多いです。先ほどお話した研修の中で、優しい日本語講座という研修をやりました。今まで県民ホールでは、4カ国語ぐらい話せる人を配置したり、プログラムには英語を載せたりなど、文化庁の指導があるのでそういうこととしていました。優しい日本語講座を受けて分かったことは、文化施設に来られる外国人の方は日本語を勉強していらっしゃる方がほとんどで、しかも英語を喋れない方も多いということでした。外国人の方にアンケートを取ったら、日本語で会話と読み物を見たいというのが1番多くて7割くらいです。そうすると何が大事かという、優しい日本語で書かれている、優しい日本語でお話をするということです。それはイコール高齢者の方ですとか、障害者の方にも通じることなんですね。今はどちらかというとか国語で言葉を話せるようにするとか、読み物を用意するという方ではなくて、優しい日本語にシフトしてきたというのが現実的にあります。

鈴木委員長 今ご指摘の多様な立場の方が興味を持ち、参加しやすくというセンター機能の役割の発揮の部分、まさにその部分だと思います。

その他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

一 同 (特になし)

それでは、概ねこちら意見が揃ったように思います。

4. 事業(施設)運営の方向性については、いくつか入れるべき項目がありました。先ほどの望ましい機能についてのところもありましたけども、活動支援という言葉、それから SNS などの情報発信の件、それからコーディネート機能の件、そういった点についてしっかりと組み込むこと。それから多様な人々の参加、いわゆるソーシャルインクルージョンの観点をしっかりと運営の方向性に入れていくと。一方で、すみ分けと連携の部分については、視点1・2のところは若干重複するあるいはどちらにあるべきかというのは議論があるので、ここについてはそういった方向性で修正するというところでよろしいでしょうか。

一 同 (異議なし)

鈴木委員長 ありがとうございます。ご了承いただきましたので、そういった方向性で決定とさせていただきたいと思います。

次に、議事3施設機能の構成についてに移りたいと思います。説明資料3の

説明をお願いします。

事務局 **資料3**について説明

鈴木委員長 それでは施設機能の構成についてご意見いただきたいと思います。

北原委員 施設全体における配慮事項のところとしては、やはりまだまだウィズコロナの時代でもありますので、換気とか消毒に関する配慮事項というのは記載が必要ではないかと思います。来館者の安心安全というところも踏まえても、ある程度換気であったりとか、利用後の消毒とかいうものに関してどれだけ施設自体が備えていられるかというのは、利用時の重要なポイントになっていくのかなというように感じます。

コーディネーターの話は先ほども何度も出ておりますけれども、おそらく全てのものを全部内部で賄うとしてしまうと、かなり無理があるだろうと思います。多言語や福祉的なところについても、どの専門家をこの文化施設にどれだけ置くのかというところで、おそらく文化的な部分での専門家がしっかりいるということが大事だと思います。そこはある程度内部で、そうしたコーディネーター的人材もジェネラリストを求めようとする、すごく凡庸になってしまうので、逆に文化・芸術部分でのスペシャリストの配置の部分と、あと内部で抱えるよりも、連携・協働で実現していくというところの意思が示されると良いのではないかなと感じました。

先ほどの活動支援の部分では、私は非常に重要な視点だなと考えました。団体がコンサートをやるとか発表会をやるということで発信をしようと思った時に、チラシを作るとか、印刷をするということが分散するよりも、一所の場所のできる、ワンストップでできるって非常に重要なことかなと思います。会議室なのか情報コーナーなのかわからないんですけども、印刷ができるという機能があるととても便利かなと思いました。

おそらくその他のところに関わるころかなと思いますけれども、エントランスや屋外スペースのグランドレベルの設計というところが、区民にとっての入りやすさとか関わり方というところで、非常に重要になると思います。作品などがちょっと見るとか、オープンな感じのことが書かれているかなと思いました。

エントランススペースでは、植栽がすごく大事なかなと思っています。植栽やお花などは、ある種それもアートとか芸術の分野にも関わることで、その植栽デザインのことは、一言書いてあると良いかなと感じました。あと、屋上スペースですが、ここをどう活用するかによって魅力度がすごく変わってくると思います。特に今コロナがいつまで続くか、この施設がオープンするまでに続くかどうかわからないんですけども、屋外でのミーティングというものも非常に今ニーズがありますので、打ち合わせスペースなどに限度があるような場合に、屋上にオーニングなどがあって、テ

ーブルと椅子があると利用がしやすくなります。無駄な空間というのがなくなって、カフェ的にテラスのように使えるんじゃないかと感じました。

赤江委員 具体的に実際私のホールで困っているようなことを、一応お伝えまでさせておいていただいてもよろしいでしょうか。まず3点ほどあります。Wi-Fiなんですけれども、ここでWi-Fiの表示が書かれているのが、音楽多目的室、会議室、情報コーナーにあるんですけれども、今私どものホールでは非常に困っているのがロビーでのWi-Fi化なんです。なぜかという、ロビーには例えばチケット有料の場合にモグリがあったりですとか、何かしらの販売をする時に、全部チケットレス、キャッシュレス決済になってきていますので、Wi-Fiが無いと困ることが多いです。それとWi-Fiに関して言いますと、防音室では今、特にコロナの時代から配信というのが非常に多くなってきています。この防音室を利用しての配信という利用も非常に多いのではないかなと思っています。そうすると、非常にWi-Fiというのは、重要な備品の一つになってくると思います。そして、ギャラリーの方なんですけれども、今非常にインスタレーションというジャンル多くなってきています。そのインスタレーションの作品でも、やっぱりWi-Fiを使うものですか、コラボレーションするものも多いです。何が言いたいかというと、活動の場全てにおいて、全館Wi-Fiにしておいていただいた方がよろしいのではないかなと思いました。

そして、2点目は動線です。搬入口やバックヤードの動線を確保など、非常に動線のこと書かれていてこれはもう本当に素晴らしいなと思いました。1つ加えるとすると、その動線の中で必ず段差がないことが大切です。段差が生じるところには必ずエレベーターをつけていただかないと、1段でも2段でも致命的なことになります。車椅子がそこを通れない、持ち上げないといけない。それから、台車を持ち上げることができない、重量がすごく大きいものなので1回全部積み替えるようなことが生じます。フラットというところは、非常に重要視していただければなと思いました。

最後は、トイレのところですか。子育て世代が使いやすいような設備を男女トイレそれぞれに設けるとあるんですけれども、今は割と『みんなのトイレ』という表現が多いんです。それは子育て世代じゃなくても、オストメイトを使ってらっしゃる方ですか、それから高齢者の方でオムツ替えが必要な方という方もいらっしゃいます。みんなのトイレにすると、介護者の方も一緒に入れるようになります。あと、授乳室というのも、どこかに作っていただいた方がよろしいかなと思います。

鈴木委員長 多分、Wi-Fiは全館にあった方がいいと思います。大学でもパソコン用のスペースみたいなものを持たなくなっているんです。それぞれノートパソ

コンを持ってくるとか、あるいは貸し出されたもので様々な場所で作業するという風になってきています。ある意味、作業スペースは別に会議室でなくても、エントランスの休憩スペースが打ち合わせのスペースになるということでもあります。そういう意味では、Wi-Fiは大事なのかなという風に思います。その他いかがでしょうか。

阿部委員 音楽多目的室では、小規模な舞台を設けられることが望ましいとなっていて、床面は平土間形式ということで、イメージとしては真四角なスペースでしょうか。それとも、ちょっとした段差のあるステージが設けられるのでしょうか。それが、ここからではわかりません。金沢区は大変音楽活動が盛んなところが多くて、そうなるとうっかり舞台があって、客席があるとなると少し段差が欲しいんです。私個人の意見になってしまうかもしれませんが、ステージがやっぱり欲しいなというのがあります。能見台の地区センターの体育館は、使わない時は壁にくっついていて、使いたい時だけそのステージが自動で降ろされるというステージがあり、これはいいなと思ったんですね。なので、来場者の方が見やすい音楽多目的室するには、客席とステージの高低差があった方が見やすいといつも思います。金沢公会堂の多目的室も平らなスペースになっていて、そこで何か発表するとなると、あまり見えないとよく言われてしまいます。そういうことも少し考えていただきたいなというのがあります。

あともう一つは、先ほど授乳室の話が出ましたが、部屋を設けるのではなくて、移動ができる授乳室というのがあります。京急富岡駅に箱形の授乳室が設置されていて、それは鍵がかけられるようになっています。授乳をしたりオムツ替えをしたりする部屋は、鍵がかけられるのいいって言われました。お母さんたちは授乳をする時に、鍵がかけられかけられるっていうのは、すごく心の安心に繋がったっていうのを聞きました。

あともう一つは、せっかくできる金沢区の区民文化センターなので、プロジェクションマッピングが建物全体に何かできたら面白いかなと思いました。プロジェクションマッピングで金沢区の魅力が発信できるような、話題性のある区民文化センターができるのも非常に面白いなと個人的に思いましたので、そういうのもご検討いただければと思います。夜になるとすごいのが光るといような、映えるような区民文化センターも楽しいんじゃないかなと思います。そういうことを学生の皆さんに協力してもらうのもいいかなと思いました。

鈴木委員長 その他いかがでしょうか。

鈴木(達)委員 施設の話で気になっているのが、カフェという言葉です。1階にカフェというような話があったんですけど、1階のエリアは駐車場などが入ると場



所が取れないんじゃないかという気がするんですよ。その一方でカフェがあると、ここにスタバでも呼んでくるのかみたいなイメージがあって。少なくとも、皆さんが座ってくつろいでお茶を飲んで、それにお茶を提供するというのを考えると、それなりのエリアがそう必要そうだなと思いました。あと、もしこのカフェというのが普通に営業しているようなものであったら、収支の問題とか、場所の問題とかはどうなのだろうか。そういう意味で本当にここにカフェって書いてあると、この設計する人はどういう連想をするのでしょうか。例えば、自動販売機があっただとちよっと立ち寄りできるぐらいのエリアということでもあるとすると、カフェと書いてしまうのはイメージが違うんじゃないかなと思いました。

鈴木委員長 これは私が強く「カフェ機能」というのを入れるべきだとはなさせていたかったので、説明させていただきます。まず、大体こういう地区センターやいろいろな公共施設というのは、自動販売機がポツンと置いてあって、そこで買って好きな人は飲んでくださいねというようなことが多いです。けれども、やっぱり交流する場にするためには、きちっと営業が仕切られたようなものでなくとも、お茶が飲めるような場所、それから例えば1人でそういうところに行こうと思った時にちよっとお茶を飲めるとか、そういう場があった方がいいのではないかということです。ただし今回の場合、スペース的にもある程度の制限がありますから、いわゆる1階に商業的なカフェを入れるという意味ではなく、むしろ交流の場に何かそういうようなお茶を飲んで休める機能があるべきではないかということです。前回、三輪先生がおっしゃられた「とまり木機能」に近いものとして、こういう機能を入れるべきではないかということで話しさせていただきました。

鈴木(達)委員 何かテーブルと椅子があるぐらいな感じということですかね。

鈴木委員長 そうですね。やはり自動販売機でもいいんですけども、なかなかそこではコミュニケーションが生まれにくいようなところもあると思うんですね。ただ、それは全体としてこのスペース配分の中でどう考えるかという話になってきますが、ここではカフェ機能というような形で表現しています。

三輪委員 このカフェ機能というのは、スターバックスなどを入れようという発想では全くない、ということがまず前提にあります。「招き機能」のような話でいうと、少しお茶などでコミュニケーションを促した中で話を出すという、そういう機能がとまり木機能という風に表現しています。自動販売機だと結局機械なので、ただ飲むだけのものになってしまいます。そうではなくて、例えばお茶を受け取りることによって、今度こういうのありますよ、こういう使い方もできますよ、ここってこんなことできるのかな、など、そういう会話が生まれます。それはもしかしたら、運営に絡んでくると思うんですけど、最近だとネスカフェみたいなもので提供している場

もあります。例えば、地域子育て支援拠点等でもそういうカフェ機能みたいなものが置いてあるんですね。例えば、100円を渡して、自分でカプセルをとってお茶が出てくる、それを渡すというだけでも十分なのです。機械でなくひと手間かける作業とちょっと留まる場、それが相談をするきっかけになったりする。その役割として飲み物を共有し合うみたいなものがあると思うので、そういう意味では事務所がそれを部分的に兼ねていて、それをきっかけに少し腰かけて、情報を見ながらあれこれ話をするという場ではないかと認識しています。

鈴木(達)委員 スタッフお茶出ししてどうぞと渡したら、会話が出てくることを期待しているとか、そういう感じなんですか。

三輪委員 まあイメージは近いですね。今まででしたら、そういう役割について行政もあまり補助金出さなかったりしていたんですけど、子育て支援だとそういう入口の部分がないとなかなかきっかけがない、あるいはケアの場面ではそれを推奨するような動きになってきている部分もあります。なので、ここの中でも相手の要望を引き出したり、人数を引き出したりなど、コミュニケーションのきっかけにするのに、飲み物を共有するというような機能はあった方がいいんじゃないかということです。ただ、あくまでも構想なので、例えばスターバックスを入れてくださいというような書き方は一切されないのは、そういうニュアンスだと思います。だから機能というのは、確かに入れた方がいいかもしれない。「カフェ」ではなくて、「カフェ機能」と言えるのは大事な発想だと思います。

鈴木(達)委員 それで言うと、ソフト的にそういうことをやれることも考える方がいいのかなと。人が来たら必ずお茶どうぞと出す人も抱えておくというような。

鈴木委員長 いや、有料という前提です。来た人皆にサービスしたら、施設は成り立たないと思うので。

海外では多くの文化施設には必ずカフェがあって、そこは交流スペースになっているんですね。そこで打ち合わせをしたり、できるところが多いです。日本だと自動販売機を置くだけということが多くいんですけども、最近はいろんな施設の中で、コミュニケーション機能を重視してカフェ的なものを置いているところも多くあります。

鈴木(達)委員 相談に来られたとき担当の方が座られて、話し始めた時にお茶有料ですけどいりますかみたい形で、お茶を置くという感じなんですかね。

鈴木委員長 そういう趣旨での提案ではないですね。それは誤解されると、ちょっと困るところがあります。金沢八景駅前見ていただいてもわかると思うんですけど、なかなか一息ついて休んだり、人とお話ができたりする場所というのは、必ずしも多くない状況ですよ。ですので、文化施設に1人でふらっと来ても、そこで居場所を見つけられるということも結構大事ではないかなと思います。目的がある人はある人で必ずこの施設は使われると思

うんですけども、そうではない人たちに使っていただくっていうことを考えた場合に、少しそういうコミュニケーションを作る場として、カフェ的な機能があったりした方がいいのではないかなと思います。それは、お茶を出してサービスするという趣旨のものではないです。

鈴木(達)委員 椅子と机があって、自動販売機があったらいいんじゃないかという発想ではないんですね。

鈴木委員長 はい、それでは違うんですね。

赤江委員 ちょっと違う事例の話しますと、無料でお茶をしてどうぞみたいな事例は車ディーラーのショールームに行くと、それは無料だと思います。車のショールームもお洒落になっていまして、昔のイメージとはちょっと違う感じの商談のイメージになっています。お茶を入れて営業の人たちが来て、そこで商談して車買ってもらうみたいに、すごく気軽な感じでお話ができる。それと、いつも遊びに来てくださって良くおっしゃるんですね。きっと少しそこには似ているところがあると思います。

それから、鈴木先生もおっしゃっていた海外の例ですが、私自身がイギリスの劇場で研修をさせていただいたことがあって、日本でもあまりないんですけど、イギリスの劇場には1番良い場所にカフェがあるんです。

鈴木(達)委員 それは、例えばスタバみたいなものを連想して良いですか。

赤江委員 そうです。そういうものがあって、狭いところはあのカウンターだけあるというところもあります。お店みたいに構えてないんですけど、カウンターだけでコーヒーを提供していて、その辺の椅子に座ってみんな飲んでいるというような感じです。なぜかという、やっぱり劇場にみんな来てほしいという気持ちがあるからです。

私が切実に毎日感じているのは、神奈川県民ホールにはそういうところがないんです。縦割りになっているところがあって、お店に関して言うと、県の方が管理していて私たちの方では管理ができないので、どんなお店が入るかわからない。そうなってくると自動販売機になってしまっています。本当にそれで何が起っているかという、催しがない時は閑散として用事が無いから誰も来ないんです。自動販売機は外にもあるので、県民ホールの中に来なくても買えますよね。そうすると、やっぱり人が集まらない。新しい例で言うと、神奈川県立図書館が最近リニューアルして、そこに猿田彦珈琲が入ったんです。そうすると、やっぱりそこでコーヒーを飲みたい人たちが来るんです。図書館には用がないんですけども、そこにみんな来る。そうすると、ちょっと寄ってみようみたいな感じになるので、そこで交流が生まれたりします。求めている機能としては、自動販売機だと生まれないと思うんです。コーヒー出すのにもコミュニケーションがあって、そこで人との交流が生まれるというような意味合いだと思います。

鈴木(達)委員 イギリスの例でおっしゃったのは、スタバ的なものがあるって有償で提供するというのでしょうか。

赤江委員 それはですね、スタバ的なものというよりむしろ自分たちの劇場で運営していることが多いんです。劇場で、どこかにお願いしていると思いますけれども、私たちのような指定管理者で縦割りというわけではなくて、劇場に人をお迎えするという視点から、そこにカフェを設けています。それで、一角には必ずグッズショップがあつたりします。そういった目的で、1番いい場所をお客さんをお迎えする玄関などにカフェとグッズショップがあるということです。

劇場で始まるまでに、開演が夜7時だけれども5時ぐらいから来て、ここでゆっくり食事したり、軽食食べたり、お茶を飲んだり、人と待ち合わせしたりというんな人が来ています。

鈴木(達)委員 やっぱり、それなりのカフェがいるような印象を、どうしても今のお話聞いていても受けるんですけど。

赤江委員 もちろん、そういったものがあるのも良いですけども、ここにそういった機能を持たせれば良いのかなと思います。話がしやすい雰囲気作りができると良いのかなと思います。

三輪委員 私は、24ページの書き方を整理した方がいいと思っています。重視すべき視点から望ましい機能、運営方向性にいった時にそれを具現化する施設計画に関して、もう少し頭出しをしっかりとすることが結構肝なんじゃないかなと思っています。全部箇条書きになっているので、わかりわかりにくいっていうか、読み飛ばしてしまうという印象を受けました。

まず、1つ目と2つ目の項目はすでに言われているので、ここで言う話ではないと私は思っています。全体の最初のところで言われているので、あんまりそこでくどくどと言わなくていいかなと思います。その後の話は、まず諸室の規模感と配置計画を考えるべきという話です。もう1つは、みんなに優しい設えとサインの工夫みたいなことです。人と車との動線への配慮みたいなこともあるだろうし、最後の方はまさに金沢区のこの近隣の公共施設としての役割という話だと思います。金沢らしさとか、近隣の関係を見たランドデザインというのが大事になってきていて、その中に、今のカフェ機能みたいなものがなぜ必要なのかとか、そういう議論をちゃんと整理してから話していった方がいいかなと思っています。単館整備であるということは、むしろデメリットじゃないかと思うんですけど、区民文化センターを知っている人しかここに来ないわけですよ。そうすると、ここにわざわざ来る人は目的のある人しか来ない。公会堂などと連携するためには、ここも全体のランドデザインの中で素通りしないでキャッチアップできるような機能が、単館整備だからこそ必要だっていうこと

ではないか思います。これは、単館整備のメリットではなくて、逆にデメリットだと思います。複合だったら何かにくっついて、商業施設に来たついでにというようなことがあるけれど、ここは区民文化センターとして単独で存在することになるので、それに目的にした人しか来ないでしょう。その弱さを、まさに今話してたような、雰囲気作りと仕掛けという1つとして、例えばドリンクだったり、情報発信だったり、そういうものを前面に出した機能を付随した運営、設置のようなものは、まさに金沢区のこのエリアのランドデザインとして、ここをもう少し昇華させていかなければならないと思います。そういうことを最初にしてから、後ろ側に各諸室の考え方の記載とすべきじゃないかなと思っています。だから、もう一度いうと、事業運営の方向性の後に各施設機能構成についてのところには、その計画の考え方のベースを書く。これは何と言っても基本構想なので、今までの話を踏まえて、5つぐらいの肝があってから、それに付随してさらに詳細が各諸室の考え方に持つてく方がガイドラインとしては、わかりやすくなるんじゃないのかなと思います。

鈴木委員長 今までに書かれているところは、あえてここでもう一度書く必要はないのかという点、それと大きなランドデザインにどう対応していくのかということを書き必要があって、もう少し小見出しなどで整理してわかりやすくできるのではと思います。

鈴木委員長 その他ご意見があればお願いします、いかがでしょうか。

よろしいでしょうか。

かなりたくさんご指摘をいただきました。配慮事項の点については、北原委員からウィズコロナの対応等、ランドレベル、それから植栽、屋上スペースなどが打ち合わせスペースで利用できるのではないかなというようなお話をいただきました。また、三輪委員らは、前段で述べられている部分は省略して、大きな方向性が分かりやすいようなものに整理すべきではないかというご意見をいただきました。各諸室の考え方については、特に設備面で言いますとWi-Fiが重要であるという点、それから施設の運営上やバリアフリーの観点からも段差を作らないような計画をすべきということ、それから重要な点でみんなのトイレという考え方や、授乳室あるいは授乳スペースは安心して利用できるようなことが大事ではないかというご指摘も赤江委員、阿部委員からいただきました。その他、カフェ機能については、イメージが少し分かりにくいという鈴木委員からのご指摘もいただいております。こういった点を踏まえて、施設機能・構成については、再度検討するというところでよろしいでしょうか。

一 同 (異議なし)

鈴木委員長 そうしますと、施設機能・構成については以上とさせていただきます。続

	<p style="text-align: center;">いて、区民文化センターニュースについて事務局より説明をお願いします。</p> <p>事務局 <b>資料4</b>について説明</p> <p>鈴木委員長 何かご意見等ございますでしょうか。</p> <p>一 同 (意見無し)</p> <p>鈴木委員長 それでは、金沢区区民文化センターニュース第3号案については、案のとおり、決めてよろしいでしょうか。</p> <p>一 同 (異議なし)</p> <p>鈴木委員長 それでは、戻りまして最初の議題1の第2回委員会での議論内容の確認について、振り返り、議事録案の確認について、何か気づいた点はございましたでしょうか。</p> <p>一 同 (特に意見なし)</p> <p>鈴木委員長 それでは、こちらについて確定ということによろしいでしょうか。</p> <p>一 同 (異議なし)</p> <p>鈴木委員長 ありがとうございます。それでは本日の議事は全て終了いたしました。事務局におかれましては、本日の意見を取りまとめていただき、次回の委員会でお示しいただければと思います。</p> <p>区政推進課長 本日は活発なご議論を賜りまして、ありがとうございます。次回がいよいよこの検討委員会の最終回になります。本日いただいたご意見を基に資料を修正してその部分について確認いただき、最終的には答申というかたちで賜りたいと思います。それでは、本日長時間となりましたが、ご議論をいただきまして本当にありがとうございました。これにて本日の委員会は終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p> <p><b>閉会</b></p>
<p>資料</p> <p>・</p> <p>特記事項</p>	<p>1 資料</p> <p>資料1 第2回委員会での議論内容の確認</p> <p>資料2 基本的な方向性について</p> <p>資料3 施設機能・構成について</p> <p>資料4 金沢区 区民文化センターニュース 第3号(案)について</p> <p>別紙1 答申構成について</p> <p>2 特記事項</p> <p>・ 次回 日時: 令和4年12月15日(木) 9時30分から</p> <p>場所: 金沢区総合庁舎5階1号会議室</p>

横浜市金沢区における区民文化センター基本構想

答申（案）

令和 年 月

横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会

## はじめに

金沢区は市域の南に位置し、森、川、海といった自然環境に恵まれており、また、鎌倉文化圏の特色を残した歴史文化の息づく土地柄です。さらに戦後の高度経済成長期以降は、首都圏の海に近い温暖なベッドタウンとして住宅市街地開発が進展し、急激な人口増加と土地の改変を経験し、多彩な地域が並び立ち、成り立ってきたところが金沢区の特徴といえます。

現在は、様々な分野の区民活動が活発に行われている状況であり、公会堂や地区センターなど区民活動に利用できる施設はいくつかあるものの、芸術・文化活動の拠点となる施設はこれまで整備されていませんでした。

横浜市では、区民が身近に文化芸術に接し、幅広い分野の文化・芸術活動を行うことができるよう、金沢区における区民文化センターの整備に向けた検討が始まり、基本構想の検討にあたって、市長の附属機関として「横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会」が設置されました。重視する視点や望ましい機能、運営の方向性などのめざす姿について、また施設機能などについて、本委員会で議論をしてまいりました。

ここにその結果を答申としてまとめました。「歴史と文化の息づく、金沢区らしさ・魅力発信」「身近な文化・芸術の創造」「多様な人々・多彩な分野の文化・芸術活動」「あらたな文化・芸術活動のきっかけづくり」「街に連なる・街に開かれた文化・芸術活動の拠点」を重視する視点に掲げています。これらが基本構想に最大限生かされ、「金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信」が実現できるよう期待します。

令和 年 月

横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 委員長 鈴木 伸治



# 目次

はじめに	1
目次	2
<b>第1章 区民文化センター整備の検討にあたって前提となる事項</b>	<b>3</b>
1 横浜市の区民文化センターの概要	
2 金沢区の概要と特性	
3 金沢区内施設・近隣施設の利用状況	
4 金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要	
<b>第2章 金沢区における区民文化センターのめざす姿について</b>	<b>20</b>
1 コンセプト（めざす姿）	
2 重視する視点	
3 望ましい機能	
4 事業（施設）運営の方向性	
<b>第3章 金沢区における区民文化センターの施設機能・構成について</b>	<b>26</b>
1 施設全体の考え方	
2 各諸室の考え方	
<b>参考資料</b>	<b>33</b>
・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会条例	
・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会運営要綱	
・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会委員名簿	
・横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会検討経緯	
・市民意見募集の結果概要	

# 第1章 区民文化センター整備の検討にあたって前提となる事項

## 【背景】

昭和50年代以降の市民の文化的欲求の高まりに応えるとともに、各区の個性ある文化形成に資するために、横浜市に区民文化センター構想が生まれました。

平成に入ってから、旭区民文化センターの開館を皮切りに、順次、再開発等のまちづくりの機会をとらえながら、各区の地域特性にあわせた市民の身近な文化活動拠点として、整備されてきました。

第1号の区民文化センター開館から30年以上が経過し、この間に、区民文化センターに期待される役割も変わってきました。これからの区民文化センターには、従来の役割に加え、区全域での文化活動に関する支援機能や、ネットワーク形成を牽引する機能を担うことも求められています。

## 【金沢区の状況】

金沢区においては、以前から様々な文化芸術活動が大変活発に行われてきており、今後も、継続発展していくことが望まれています。

一方で、現状の区内の施設では、発展を支える十分な役割を果たすことができていない状況が続いており、長年にわたり区民文化センター整備の強い要望がありました。

横浜市としても、「市民の文化芸術活動を支援し、心豊かな市民生活の実現を目指す」という市の文化芸術創造都市施策の推進の点から、金沢区に整備することについて、これまで、まちづくり等の機会に合わせて検討してきましたが、実現に至りませんでした。

## 【整備検討に至った経緯】

金沢区の区心部にあり、横浜市の南部の拠点として重要な役割を担う金沢八景駅周辺のまちづくりが進む中で生じた市有地は、区民の長年の要望であった区民文化センターとして有効活用が可能な整備候補地となり得る土地でした。

また、平成31年に建て替えられた金沢公会堂は、その講堂が区民文化センターの大ホールの役割を兼ねられる高い音響効果を備えた施設となっています。

このような状況のもと、横浜市公共建築物マネジメントの考え方や、金沢公会堂をはじめとした区内施設の現状を踏まえつつ、規模や整備手法を柔軟に選択することで従来の区民文化センターの仕様にとらわれない、金沢区の実情に沿った区民文化センターの整備に向けた本格的な検討が始まりました。

# 1 横浜市の区民文化センターの概要

## (1) 区民文化センターについて

区民文化センターは、地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するために、横浜市区民文化センター条例に基づき設置される「地域文化芸術活動の拠点」です。

区民文化センターは、上記目的の達成のため、以下の事業を行っています。

- ① 文化活動のための施設の提供に関すること。
- ② 文化活動に関する情報の提供に関すること。
- ③ 文化活動に関する事業の相談に関すること。
- ④ 文化事業の企画及び実施に関すること。
- ⑤ その他センターの設置の目的を達成するために必要な事業。

### 参考：区民文化センター、公会堂、地区センターの違い

	区民文化センター	公会堂	地区センター
目的や事業内容	<p>地域文化芸術活動の拠点 (地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するために設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸館に加え、鑑賞や創作、体験等の自主企画事業、アウトリーチを実施。</li> <li>・ 文化芸術の普及・啓発を担う。専門人材が常駐し文化活動への相談にも対応。</li> </ul>	<p>多目的な集会施設 (市民の集会、その他各種行事のために設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸館としての施設提供。</li> </ul> <p>※金沢公会堂の講堂は、可動式の音響反射板を取り入れ、舞台は従来よりも広く整備されているなど、質の高い音楽等の発表の場として十分な機能を有する。</p>	<p>地域住民の誰もが気軽に利用できる施設 (地域住民が、自らの生活環境の向上のために自主的に活動し、及びスポーツ、レクリエーション、クラブ活動等を通じて相互の交流を深めることのできる場として設置)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域住民の自主的な活動と相互の交流の場の提供。</li> <li>・ 地域住民の福祉の向上を図るための自主事業の実施。</li> </ul>
施設内容	主ホール(300 席程度)、楽屋、ギャラリー、リハーサル室、練習室、会議室、情報コーナー等	講堂 (600 席標準)、控室、会議室、和室、多目的室、リハーサル室等	大・中・小会議室、和室、料理室、余暇室、体育館、娯楽コーナー、プレイルーム等

区民文化センター、公会堂、地区センターは、基本的に指定管理者制度により管理運営されています。

(2) 横浜市の区民文化センター整備の方針（横浜市中期4か年計画 2018～2021）

<p>政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出</p> <p>主な施策（事業） 3 市民の文化芸術活動の環境整備</p> <p>文化芸術の創造性をいかして、コミュニティを活性化し、教育、福祉、子育て、環境など様々な地域課題の解決に取り組む活動を支援します。地域文化芸術活動の拠点となる<u>区民文化センターについては、未整備区を対象として検討を進め、再開発等のまちづくりの機会に合わせて、区内の文化施設や公会堂等の公共施設の機能を踏まえ、区の特성에合わせて必要な機能を整備します。</u>また、文化施設の大規模改修を計画的に進めていきます。</p>
--

※18区の区民文化センターの整備状況

整備済（11区）：青葉、緑、鶴見、旭、神奈川、泉、港南、戸塚、磯子、栄、瀬谷

整備中（2区）：港北、都筑

未整備（5区）：**金沢**、保土ヶ谷、西、中、南

(3) 区民文化センターの標準的な機能（各区の地域特性に応じて異なる）

機能	規模・用途
ホール	<ul style="list-style-type: none"> <li>・300席程度</li> <li>・コンサートや演劇上演など</li> </ul>
音楽ルーム（リハーサル室）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・100㎡程度</li> <li>・小編成の音楽、ダンス等の練習、発表など</li> </ul>
練習室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3室、25㎡／室程度</li> <li>・少人数の音楽・ダンスの練習など</li> </ul>
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・160㎡程度</li> <li>・美術作品の展示（100点程度）が可能なスペース</li> </ul>
会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2室程度（28㎡／室程度）</li> <li>・創作ワークショップ、アート講座等のためのスペース</li> </ul>
情報コーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット等情報提供のスペース</li> </ul>
その他	事務室、楽器倉庫、一般倉庫、控室 ほか

※再開発ビル等の床の一部の取得でなく、文化施設単独で建物を整備する場合、文化施設としての床だけでなく、駐車場・駐輪場、階段室・エレベーター、各機械室、トイレ、玄関ホールなど建物として必要なものの床も併せて整備する必要があります。

## 2 金沢区の概要と特性

### (1) 金沢区の位置

- ・金沢区は市域の南に位置し、約 30 k m<sup>2</sup>の面積の中に、およそ 20 万人の人々が暮らしています。
- ・地理的には、東に海を、南北にみどりの尾根を有し、その尾根から海にかけて、幾筋かの河川が流れ込んでいます。海岸線は、砂浜、湾や港、埋立地といったさまざまな様相を見せています。
- ・このように、金沢区は、森、川、海といった自然環境に恵まれており、また、鎌倉文化圏の特色を色濃く残し、鎌倉時代から近代を中心とする史跡の宝庫ともなっています。
- ・一方、産業に目を転じると、区内には、漁業・農業、臨海部産業団地（LINKAI 横浜金沢）を代表とする工業や物流の拠点があります。また、金沢動物園、水族館、海の公園、八景島を代表とする観光施設や、大学をはじめとする研究機関もそろっています。特に公園面積では、市内全域の公園面積のおよそ 10%を有するなど、その豊かさにも着目すべき点が数多くあります。

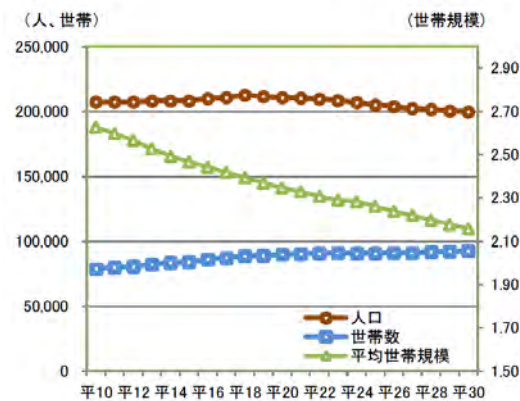


出典：横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン  
金沢区まちづくり方針

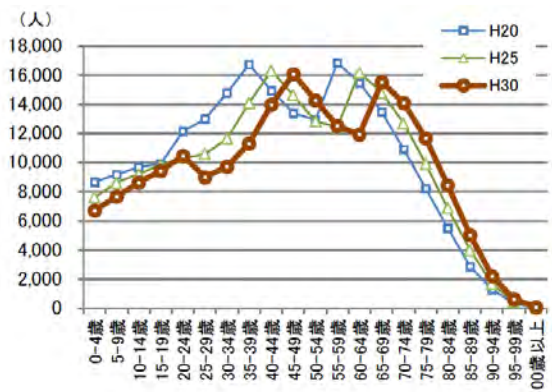
### (2) 金沢区の人口動向

- ・金沢区には、令和 4 年 4 月 1 日現在 196,748 人が暮らしており、世帯数は 90,201 世帯です。
- ・人口は、平成 18 年頃まで緩やかに増加していましたが、それ以降は緩やかな減少傾向が続いています。世帯数は、平成 25～30 年の期間も増加が続いており、増加数は、平成 20～25 年に比べて多くなりました。
- ・65 歳以上の人口の増加と同時に 20～30 歳代の人口が減少し、居住者の年齢構成の変化や高齢化が進んでいる状況です。

#### 人口、世帯数、平均世帯規模の動向



#### 年齢 5 歳別人口の動向



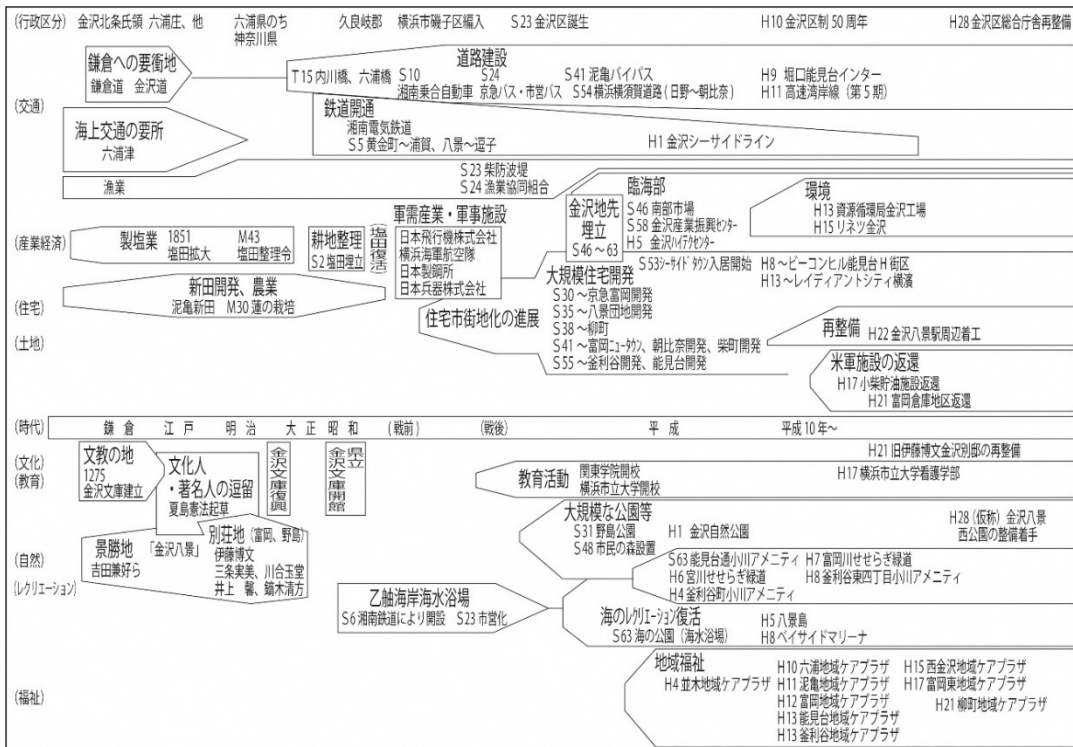
出典：データ de かなざわ (金沢区地区別データ集)

### (3) 金沢区の地域特性

#### ■金沢区の歴史と成り立ち

- ・金沢の地には、野島貝塚や称名寺貝塚などの多くの遺跡が物語るように、縄文時代の頃から人々の生活がありました。
- ・鎌倉時代には、東アジアに開かれた貿易港「六浦津（むつうらのつ）」や金沢北条氏が残した「称名寺」「金沢文庫」が立地し、交通上、経済上及び文教上、鎌倉政権の東の重要な拠点をなしていました。
- ・江戸時代に入ってから、平潟湾周辺地区を中心に、歌川（安藤）広重の浮世絵にも描かれた風光明媚な遊覧地として多くの観光客をひきつけ、明治・大正期も、富岡や野島などが文人や政治家たちの別荘地やレクリエーションの場となるなど活発な人と物の交流を生み続けました。
- ・さらに昭和期に入り、戦前になると、軍港横須賀の後背地として多数の軍事施設や軍需産業が立地しました。
- ・戦後の高度経済成長期以降は、首都圏の海に近い温暖なベッドタウンとして脚光を浴びることとなり、住宅市街地開発が進展し、急激な人口増加と土地の改変を経験しました。
- ・その後、金沢シーサイドラインの新設、首都高速道路湾岸線の延伸に伴い、臨海埋立部を中心に産業団地、海のレクリエーション施設の開発が行われるとともに、駅周辺では土地区画整理事業等による再整備が今に至るまで続けられています。
- ・このように、まちの姿は変わりましたが、いつの時代でも地理的要衝の地にあり、その時々最新の生活文化が生まれ、その結果として、多彩な地域が並び立ち、成り立ってきたところが金沢区の特徴といえます。

金沢区のまちの歴史の変遷と近年のまちづくりの発展



出典：横浜市都市計画マスタープラン金沢区プラン 金沢区まちづくり方針

## ■金沢区心部のまちづくり

・「金沢区心部まちづくり構想※（令和2年12月策定）」では、金沢区心部（金沢文庫駅～金沢区総合庁舎周辺～金沢八景駅）のエリアでまちづくりを進めるための3つの方策を設定しました。この3つの方策に基づいてまちづくりを進めることにより区心部の魅力を向上させ、区民の生活満足度を高めるためとともに、人々の交流を促進させます。また、そうした取組による効果を区心部から区全体に波及させていくことを目指しています。

※ 金沢区心部において、将来的に大規模な土地利用転換が行われようとする際にも、事業者・地権者等との連携により、金沢区心部のまちづくりについて具体的な検討が行えるよう策定しました。

### 金沢区心部におけるまちづくり方策

#### 1 地域資源を生かしたまちづくり・地域の魅力発信

- (1) 地域資源を生かした活動の創出
- (2) 自然・歴史などの地域資源を生かした魅力的な空間の創出
- (3) 地域の魅力の情報発信による金沢区のイメージ向上

#### 2 暮らし・滞在を豊かにする機能やサービスの誘導

- (1) ライフステージの変化に対応できる多様な住まいづくり
- (2) 多様な働き方を実現できる場の創出
- (3) 日常生活を支えつつ、まちを楽しむことができる機能の誘導

#### 3 まちの基盤の段階的な改善

- (1) 区心部のアクセス性向上に資する交通インフラの強化
- (2) 金沢区の玄関口である金沢文庫駅と金沢八景駅の顔づくり
- (3) 安心安全に暮らせるまちの基盤の改善

### 将来像（イメージ）



### （一部抜粋）

金沢区の玄関口として、区民にとって利用しやすく愛着をもてる駅前空間を事業者等と協働しながら形成します。

※ 金沢八景駅：

区心部、研究及び教育の拠点となる2つの大学、区民や来街者の憩いの場である野島公園・海の公園等への玄関口

※ 買物や飲食のできる利便性の高い駅前空間及び駅前周辺の整備

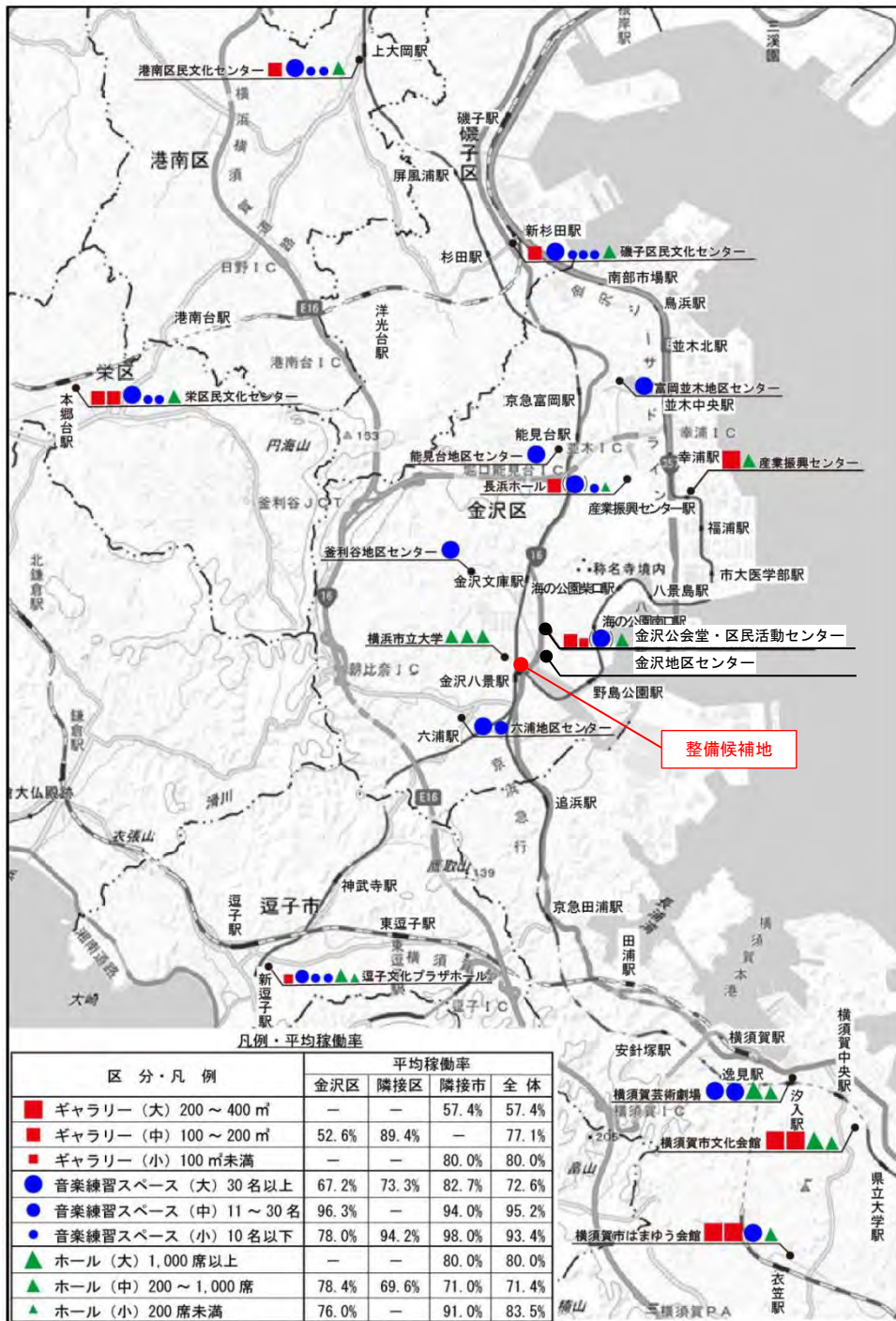
※ 歴史的・文化的な要素を踏まえた、展示・ギャラリースペース、人が集える空間の形成や演出の誘導。金沢八景駅東口駅前においては、「建築物等のデザインガイドライン」を尊重した整備

出典：金沢区心部まちづくり構想

### 3 金沢区内施設・近隣施設の利用状況

- ・金沢区は地区センター、公会堂、区民活動センター、隣接区は区民文化センター、隣接市は市営施設を対象とした利用状況を整理すると下図のとおりです。（令和元年度横浜市調査より）
- ・ギャラリーは、市内には 100～200 ㎡の中規模の施設しかありませんが、中小規模のギャラリーの方が全体の平均稼働率は高くなっています。また、音楽練習スペースについては、10 名以下の小規模、11～30 名の中規模の方が大規模よりも平均稼働率が高くなっています。

文化活動に利用されている施設の利用状況



※金沢区は地区センター、公会堂、区民活動センター、隣接区は区民文化センター、隣接市は市営施設を対象  
 ※図中の（●）は、ギャラリーとして示したもののうち、音楽室として転用可能なもの  
 ※平均稼働率は、稼働率が不明な区民活動センター、横浜国立大学、産業振興センターを除いて算出

出典：令和元年度横浜市調査



文化活動に利用されている施設の概要

所在地		金沢区内										隣接区等				逗子市		横須賀市		
名称		金沢公会堂	金沢区民活動センター	長浜ホール	金沢地区センター	釜利谷地区センター	能見台地区センター	富岡並木地区センター	六浦地区センター	横浜市金沢産業振興センター	横浜市立大学金沢八景キャンパス	港南区民文化センター(ひまわりの郷)	磯子区民文化センター(杉田劇場)	栄区民文化センター(リリスホール)	神奈川県民文化センター(かなつくホール)	逗子文化プラザホール	横須賀市文化会館	横須賀市はまゆう会館	横須賀芸術劇場	
最寄駅	駅名	金沢文庫 金沢八景	金沢文庫 金沢八景	能見台 幸浦	金沢八景	金沢文庫	能見台	京急富岡 並木中央	六浦	産業振興 センター	金沢八景	上大岡	新杉田	本郷台	東神奈川	新逗子	横須賀中央	衣笠	汐入	
	徒歩時間	12分	12分	15分	5分	14分	5分	10分	5分	1分	6分	5分	3分	3分	1分	2分	10分	3分	1分	
開設時期		H31.3	H31.2	H9.5	S55.5	H4.2	H13.9	H7.3	H10.5	S58.6	H28 他	H9.3	H16.9	H10.2	H16.7	H17.6	H40.5	S58.10	H3.9	
敷地面積(㎡)		3,326		3,476	11,180	1,977	2,248	2,475	2,958	42,000	103,512	12,010	12,100				10,193	2,569		
延床面積(㎡)		1,267		984	1,975	1,771	1,803	1,776	2,046	8,594		2,834	3,000	2,977	2,950	4,127	9,153	4,588	23,339	
利用申込(予約)方法		窓口 電話(翌日から)	窓口 電話	電話(音声) インターネット	窓口 電話 インターネット	窓口 電話 インターネット	窓口 電話 インターネット	窓口 インターネット	窓口 インターネット	窓口 インターネット 電話(利用 当日のみ)	FAX	電話(音声) インターネット	電話(音声) インターネット	電話(音声) インターネット	電話(音声) インターネット	窓口 インターネット	窓口 インターネット	窓口 インターネット	窓口 電話(翌日 から)	
文化活動機能の整備状況	ホール(席数)	▲ 596席		▲ 104席						▲ 256席	▲ 450席	▲ 381席	▲ 310席	▲ 300席	▲ 300席	▲ 558席	▲ 1,098席	▲ 516席	▲ 1,806席	
											▲ 300席					▲ 160席	▲ 250席 ※4		▲ 574席	
											▲ 210席									
	多目的室(面積)	● 108㎡		● 100㎡			● 159㎡ ※5	● 133㎡		235㎡	50名		● 100㎡				270㎡※4	215㎡		
	備考(防音、ピアノ等)	ピアノ 電子ピアノ スポットライト		ピアノ			ピアノ 防音	ピアノ		ピアノ		ピアノ	ピアノ スポットライト	ピアノ	ピアノ	ピアノ スポットライト	ピアノ スポットライト	ピアノ スポットライト	ピアノ スポットライト	ピアノ スポットライト
	音楽室(面積)			● 40㎡					● 40㎡			● ☆43㎡ ● ★24㎡ ● ★17㎡	● 21㎡ ● ☆17㎡ ● 14㎡	● ☆74㎡ ● ☆26㎡ ● 24㎡	● ☆68㎡ ● ☆21㎡ ● ★21㎡	● ☆34㎡ ● 32㎡ ● 25㎡		● 109㎡	● ☆300㎡ ● ☆200㎡	
	備考(防音、ピアノ等)			ピアノ						ピアノ		☆ピアノ ★電子ピアノ	☆ピアノ	☆ピアノ	☆ピアノ	☆ピアノ ★電子ピアノ	☆ピアノ		ピアノ	☆ピアノ
	ギャラリー(展示可能面積 W×H 単位:m)	■ ※1	■ 22.5×3.5	■ ※1 19.4×2.6	※2					■ 273㎡		■ 69.0×3.5	■ 83.5×2.8	■ ※5 94.1×3.0	■ 60.8×3.0	■ 72㎡	■ 152.2×2.5	■ ※1 95.0×3.1		
																	■ 115.8×2.1	■ 206.1×2.7		
	備考(展示ワイヤ、スポットライト等)		ワイヤフック									ピクチャーレール	ピクチャーレール スポットライト	可動パネル スポットライト	ワイヤ スポットライト	可動パネル	可動パネル ピクチャーレール スポットライト	可動パネル ピクチャーレール スポットライト		
	大会議室(31名以上(定員))	50名			90名	● 48名			36名※4	● 50名	135名						60名	60名		
																	54名	30名		
																	42名	30名		
	備考(防音、ピアノ等)						ピアノ			ピアノ										
	会議室(30名以下(定員))	30名	12名※4	20名	24名	24名	24名	18名※4	20名	30名	30名	18名	12名※4	18名※4			25名			
	20名	10名※4		20名	18名	16名		20名	30名	24名	18名	12名※4	15名※4			12名				
					18名				20名			10名								
備考(防音、ピアノ等)																				
和室(定員)	10名			24名	24名※5	24名※5	24名※5	20名	30名							20名				
備考(水屋等)	水屋			水屋・ガス台	水屋	水屋	水屋	水屋	水屋	水屋										
その他				※3		※3														

- ※1 多目的室をギャラリーとして使用した場合
- ※2 ロビーの壁面を無料貸し出し
- ※3 体育館をギャラリーとして転用実績あり
- ※4 連結使用可能
- ※5 分割利用可(ただし、和室の水屋利用は一方のみ)

## 4 金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要

### (1) 金沢区における区民文化センター整備の基本的な考え方

- ・金沢区における区民文化センター整備にあたっては、横浜市中期4か年計画（2018～2021）※における区民文化センター整備に関する方針や「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」を踏まえる必要があります。

※ 現在、新しい中期4か年計画の策定に向けて検討中です。

- ・また、文化面から見た金沢区の地域特性も踏まえ、金沢区における区民文化センター整備は、金沢区心部（金沢文庫駅～金沢区総合庁舎周辺～金沢八景駅のエリア）で、金沢区内の交通の拠点のひとつである金沢八景駅前から徒歩圏にある整備候補地での整備を検討します。
- ・区民ニーズを踏まえ、区民に必要とされている機能を中心に整備を検討します。また同じ金沢区心部にある金沢公会堂等と場所や機能について連携することで、金沢区における文化・芸術活動のより一層の充実を図ります。

**場所の補完**…金沢区においては、文化芸術の鑑賞や活動も可能な場として金沢区心部に金沢公会堂があります。同じ区心部に、金沢区内の交通の拠点のひとつである金沢八景駅の徒歩圏に文化・芸術活動の場である区民文化センターの整備を検討します。

**機能の補完**…区民のニーズを踏まえ、区内に不足している機能を中心に整備を検討します。

### 区民文化センターの標準的な機能との比較

	区民文化センター 標準仕様	金沢区における 区民文化センター	金沢公会堂
ホール	300 席程度	公会堂が補完	603 席
音楽ルーム・ リハーサル室	100 m <sup>2</sup> 程度	必要な機能 を検討	—
多目的室	—		約 108 m <sup>2</sup>
練習室（防音）	3 室程度 (25 m <sup>2</sup> /室程度)		1 室（リハーサル室） (約 24 m <sup>2</sup> )
ギャラリー	160 m <sup>2</sup> 程度 (可動壁)		—
会議室	2 室程度 (28 m <sup>2</sup> /室程度)		2 室 (約 50・80 m <sup>2</sup> )
その他	情報コーナー等		和室 1 室 (10 畳)

《参考》

横浜市中期4か年計画（2018～2021）

政策5 文化芸術創造都市による魅力・賑わいの創出

主な施策（事業）3 市民の文化芸術活動の環境整備

文化芸術の創造性をいかして、コミュニティを活性化し、教育、福祉、子育て、環境など様々な地域課題の解決に取り組む活動を支援します。地域文化芸術活動の拠点となる区民文化センターについては、未整備区を対象として検討を進め、再開発等のまちづくりの機会に合わせて、区内の文化施設や公会堂等の公共施設の機能を踏まえ、区の特성에合わせて必要な機能を整備します。また、文化施設の大規模改修を計画的に進めていきます。

横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン（令和4年6月）

IV. 将来アクション

資産経営アクション

1. 地域特性に応じたファシリティマネジメントの推進（抜粋）

土地・建物等の保有資産を経営資源として総合的にとらえるファシリティマネジメントを、本市の特性（都心部と郊外部を併せ持つ立地、住民・企業の地域活動の多様さ等）を踏まえつつ、市民の理解を得ながら全庁的に推進します。

② 公共施設が提供する機能・サービスの持続的な維持・向上（公共施設の適正化）（抜粋）

〔施設規模の効率化〕

規模効率化の推進 公共建築物の配置や床面積など規模・数量に関する施設の基準を整理するとともに、再整備等の機会を捉え、利用状況、他施設の配置・劣化状況を踏まえて、機能統合などの再編整備を進め、施設規模の効率化を図ります。併せて、民間ノウハウ・資金の導入をはじめとした公民連携の手法も幅広く検討します。

規模効率化の目標 本市が保有する公共建築物の施設総量（総床面積）について、適正な規模への効率化に向けた将来の数値目標を設定し、取組を進めます。

③ ファシリティマネジメントの推進に向けた仕組みの構築（抜粋）

公共建築物の再編整備にあたっては、想定されるエリアの関係施設・土地を抽出・調査し、効率的な施設の組合せや整備時期を予め整理・検討するなどにより、計画的に進めます。

4. 公共建築物の規模効率化目標と工程（抜粋）

公共建築物の規模効率化は、以下のとおり目標と工程を定め、全庁的に取り組みます。

＜公共建築物の規模効率化目標＞

一般会計で整備・運営する本市保有の公共建築物の施設総量（＝総床面積）について、

2065年度：基準時点から少なくとも1割を縮減

2040年度：基準時点以下に縮減（現状より増やさない）（基準時点：2021年度末）

## (2) 整備候補地の概要

### 経緯

- ・区民文化センターの整備については、令和2年9月11日、金沢区内14連合町内会、金沢区選出県市議会議員及び特定非営利活動法人横浜金沢文化協会の連名で、区民文化センター整備の早期実現について要望書が出されています。
- ・また、市では令和2年度から3年度にかけて、区民文化センター整備に向けた調査検討を進めてきました。

### 整備候補地の概要

- ・整備候補地は、金沢八景駅東口地区土地区画整理事業区域内2街区（金沢区瀬戸5002-8、5002-9）にある約800㎡の市有地としています。
- ・金沢八景駅からは徒歩2～3分の立地で、敷地の三面が道路に面しています。



(左が北・右が南)



(左が東・右が西)

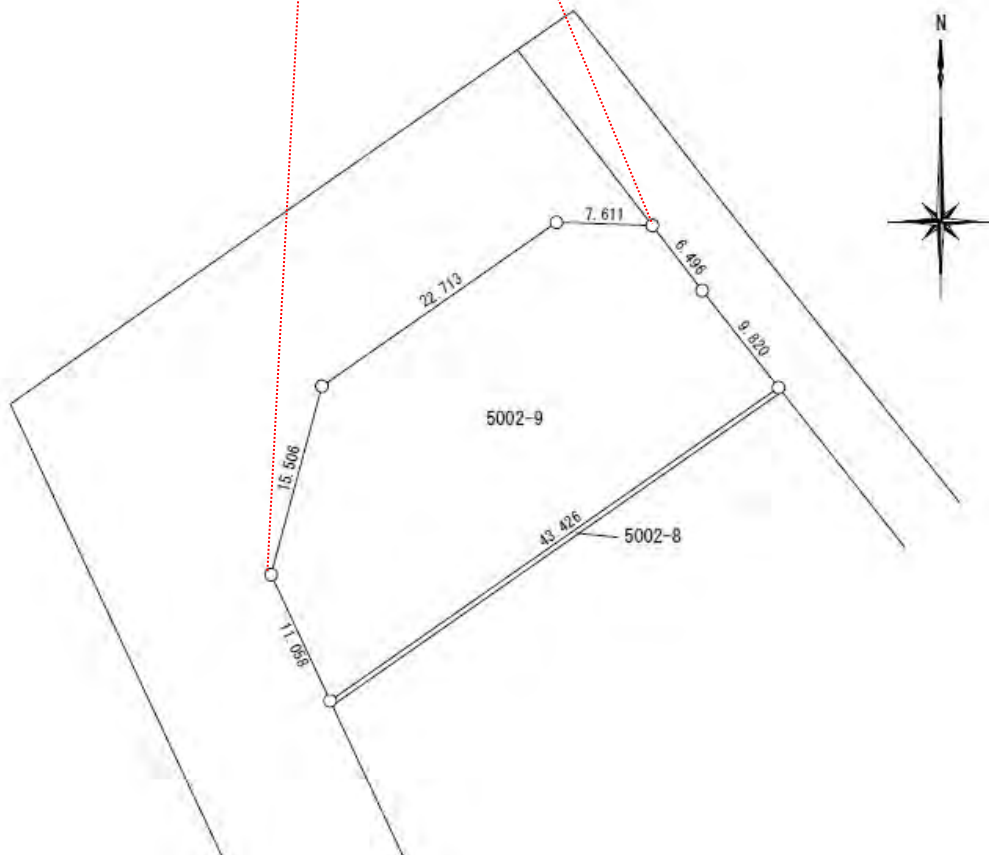
整備候補地（令和4年12月現在）



整備候補地の周辺地図



位置図(拡大)

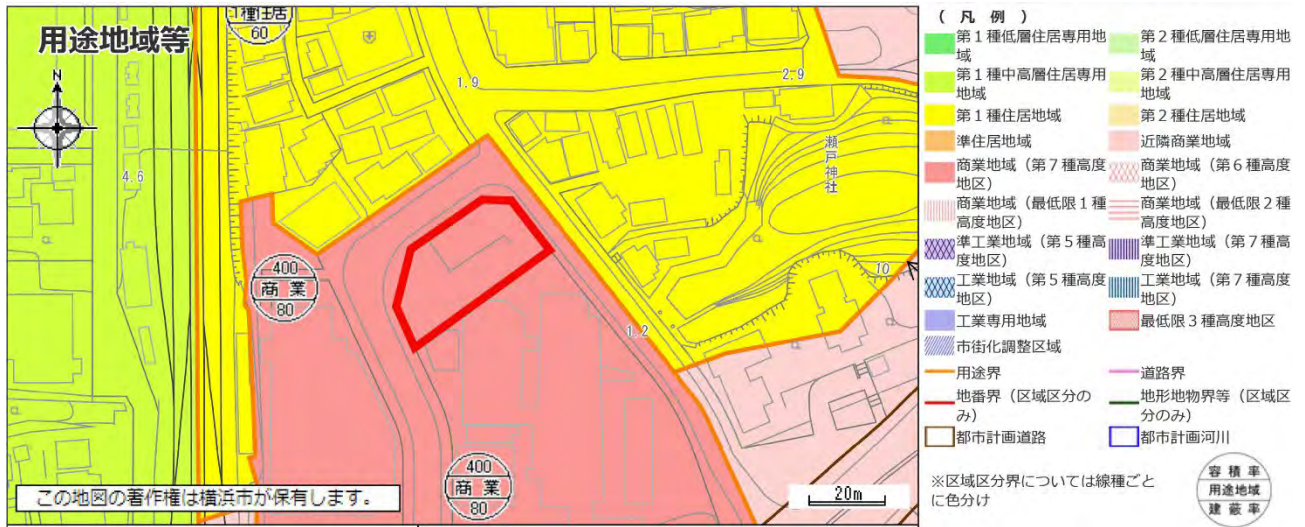


敷地図

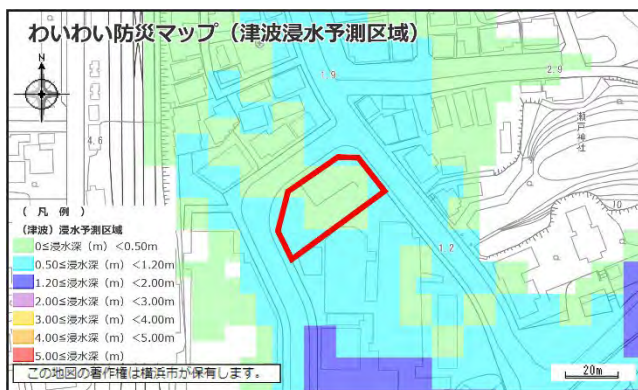
参考：都市計画による制限等

計画地	金沢区瀬戸 5002-8、5002-9
敷地面積	810.18 m <sup>2</sup> (5002-8 : 17.97 m <sup>2</sup> 、5002-9 : 792.21 m <sup>2</sup> )
用途地域	商業地域
防火指定	防火地域
高度地区	第7種高度地区 (最高限 31m)
日影規制	4m、4時間、2.5時間 ※計画地は対象地域外であるが、隣接が対象地域である第1種住居に日影が及ぶ (高さが10mを超える建築物) ため、規制値について検討が必要
建ぺい率	90% (法定建ぺい率 80% + 角地緩和 10%)
容積率	400% (法定容積率 400% < 前面道路による容積率 780% (13m × 60%))
その他 地域地区等	<ul style="list-style-type: none"> <li>市街化区域</li> <li>金沢八景駅東口地区地区計画</li> <li>駐車場条例の附置義務区域 (横浜市駐車場条例)</li> <li>横浜市駐車場の附置等に関する条例</li> <li>建物等のデザインガイドライン</li> </ul> ※金沢八景駅東口地区まちづくりガイドラインを継承
前面道路	建築基準法第42条第1項第1号道路及び第2号道路 ※最大幅員 13m

用途地域図



津波浸水予測区域図

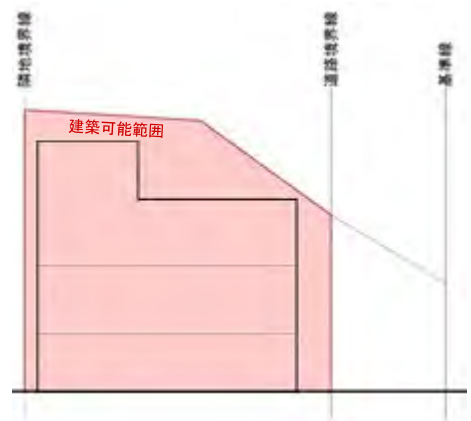
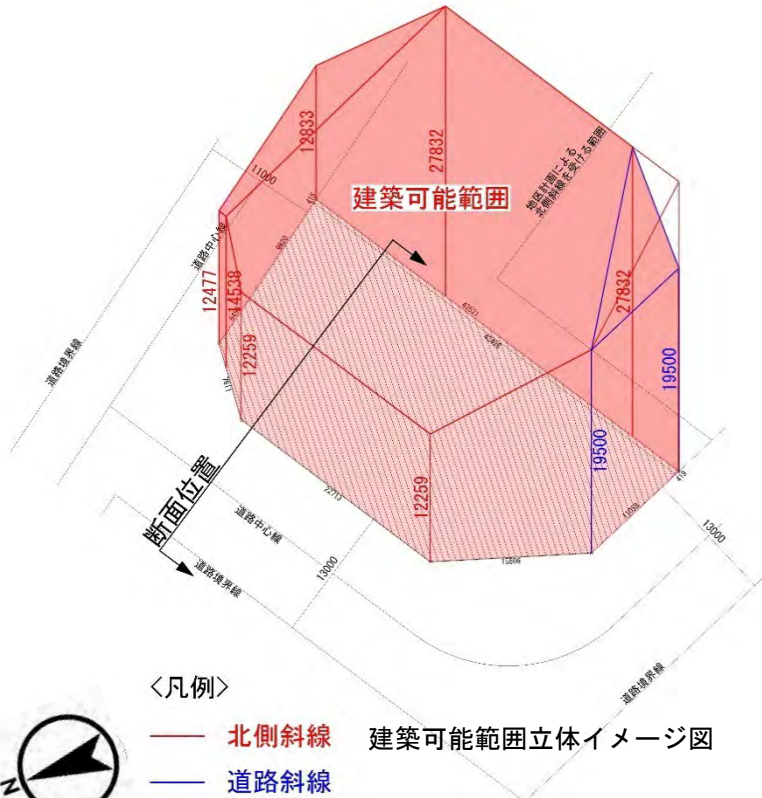


高潮浸水想定区域図



### (3) 建設可能な容積イメージ

- ・建物高さについては、道路斜線及び北側斜線、日影規制がかかってきます。敷地を含めた南側（駅側）は商業地域ですが、道路を挟んだ北側は住居地域に隣接しているため高さの規制が厳しくなっています。
- ・最も厳しいのは北側斜線による制限で、敷地北隅では12.2m以下となり、建物をセットバック（後退）した計画とすることで、3階建て程度が可能となります。また、隣地側（南東側）では一部4階建て程度も可能となります。

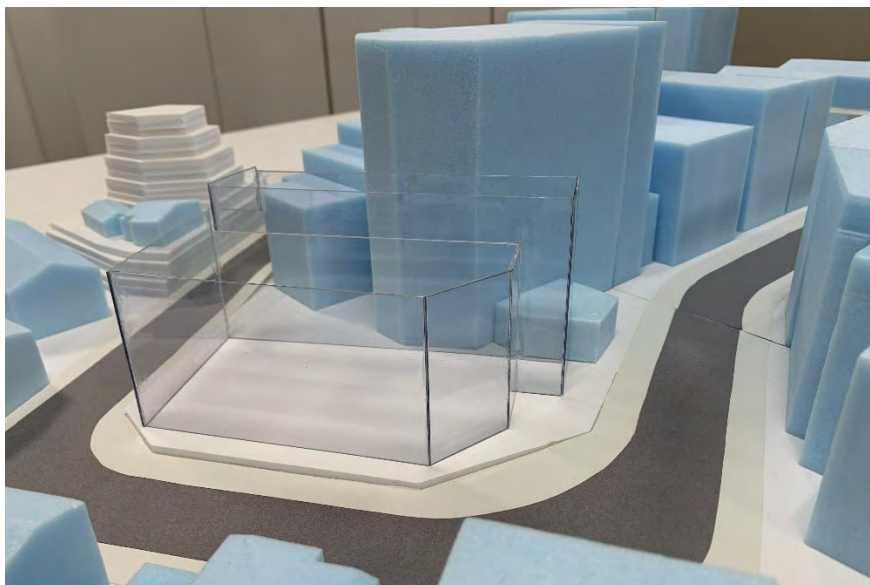


南-北断面イメージ図

<凡例>

- 北側斜線 建築可能範囲立体イメージ図
- 道路斜線

建築可能範囲のボリュームイメージ

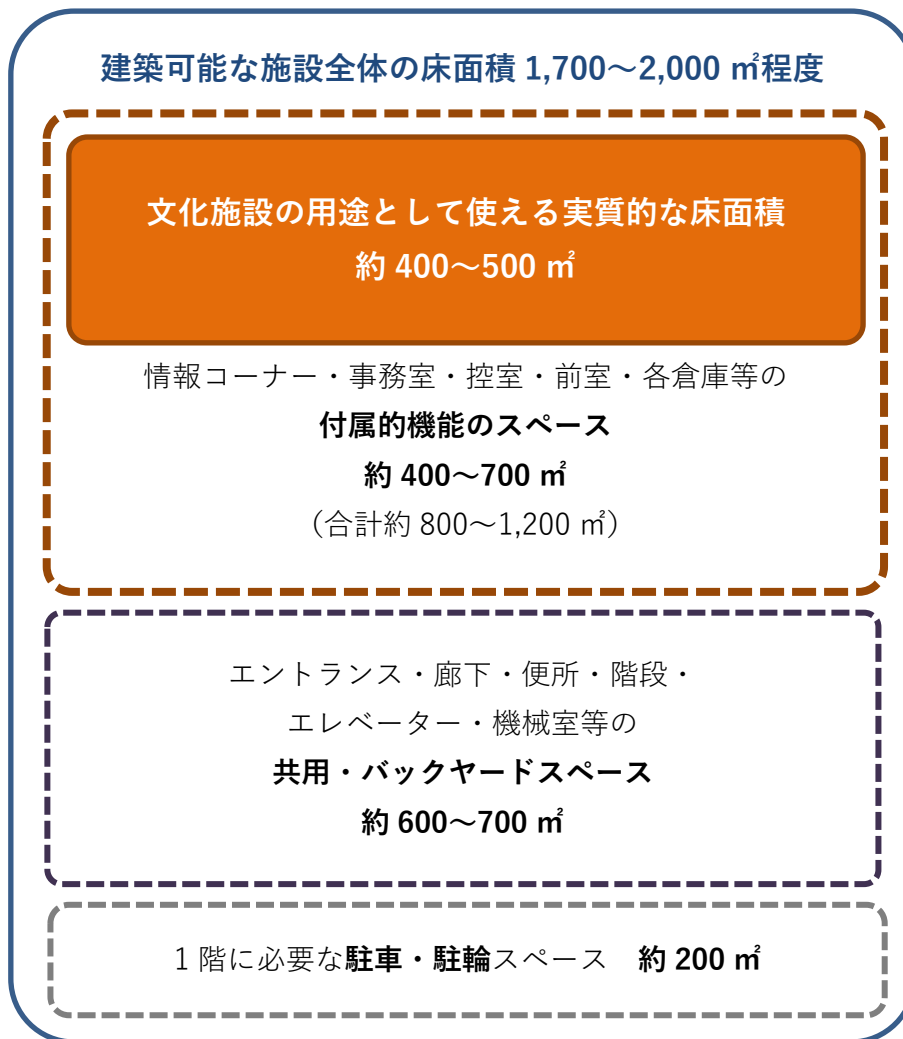


ボリューム検討（模型）



(4) 文化施設の用途として使える床面積イメージについて

- ・建築可能なボリュームの検討により、施設全体の床面積は1,700~2,000 m<sup>2</sup>程度となりますが、その内、1階に法令上必要な駐車・駐輪スペースの確保、施設内のエントランス・廊下・便所・階段・エレベーター・機械室等の共用・バックヤードスペース、情報コーナー・事務室・控室・前室・各倉庫等の付属的機能のスペースの床面積を考慮すると、文化施設の用途として使える実質的な床面積は約400~500 m<sup>2</sup>程度となることが想定されます。
- ・駅前の立地であることから、公共交通機関を利用したアクセスを想定し、駐車・駐輪等のスペースは必要最小限の設置台数での計画とします。



床面積のイメージ

(参考) 法令上最低限必要な駐車場・駐輪場の附置義務<sup>\*</sup>台数について

- ・上記の床面積イメージから法令上最低限必要な設置台数を算定すれば下記の通りです。

駐車場	3~5台 (内、車いす用駐車場1台、荷捌き用駐車場1台)
自動二輪車駐車場	1台
自転車駐車場	40~50台程度

<sup>\*</sup>横浜市駐車場条例 (附置義務駐車場)

## (5) デザインガイドラインについて

金沢八景駅東口周辺には、デザインガイドラインがあり、区民文化センター整備についてもそれに従って設計することが求められます。

- ・金沢八景駅東口周辺は、昭和 61 年より 30 年近くにわたって土地区画整理事業の実施など、まちづくりを進めてきました。
- ・金沢八景にふさわしいまちづくりを進めるため、地区計画と「ガイドライン」に基づいて、道路や駅舎などの公共公益施設や民間建物について、用途、高さ、形態、デザイン（意匠）、広告物など、秩序の中に個性ある魅力的なまちづくりを進めました。
- ・まちなみのテーマは「海辺の下町・和モダン」とし、八景の歴史性を感じさせる「和」と海辺の街らしさを感じさせる明るさを融合したデザインとしました。また、区画整理前の八景のもつヒューマンスケールなまちなみを原風景とすべく、ファサード（道路側の外観）、看板位置などを画一的に統一するのではなく、ゆるやかな統一感のある街なみを目指すものとなりました。
- ・「ガイドライン」は金沢八景まちづくり協議会が運営等をしてきましたが、平成 31 年に同協議会が解散したため、現在では「金沢八景まちづくり委員会」がその取り組みを継承して運営しています。



金沢八景駅東口・西口の現在の様子（令和 4 年現在）

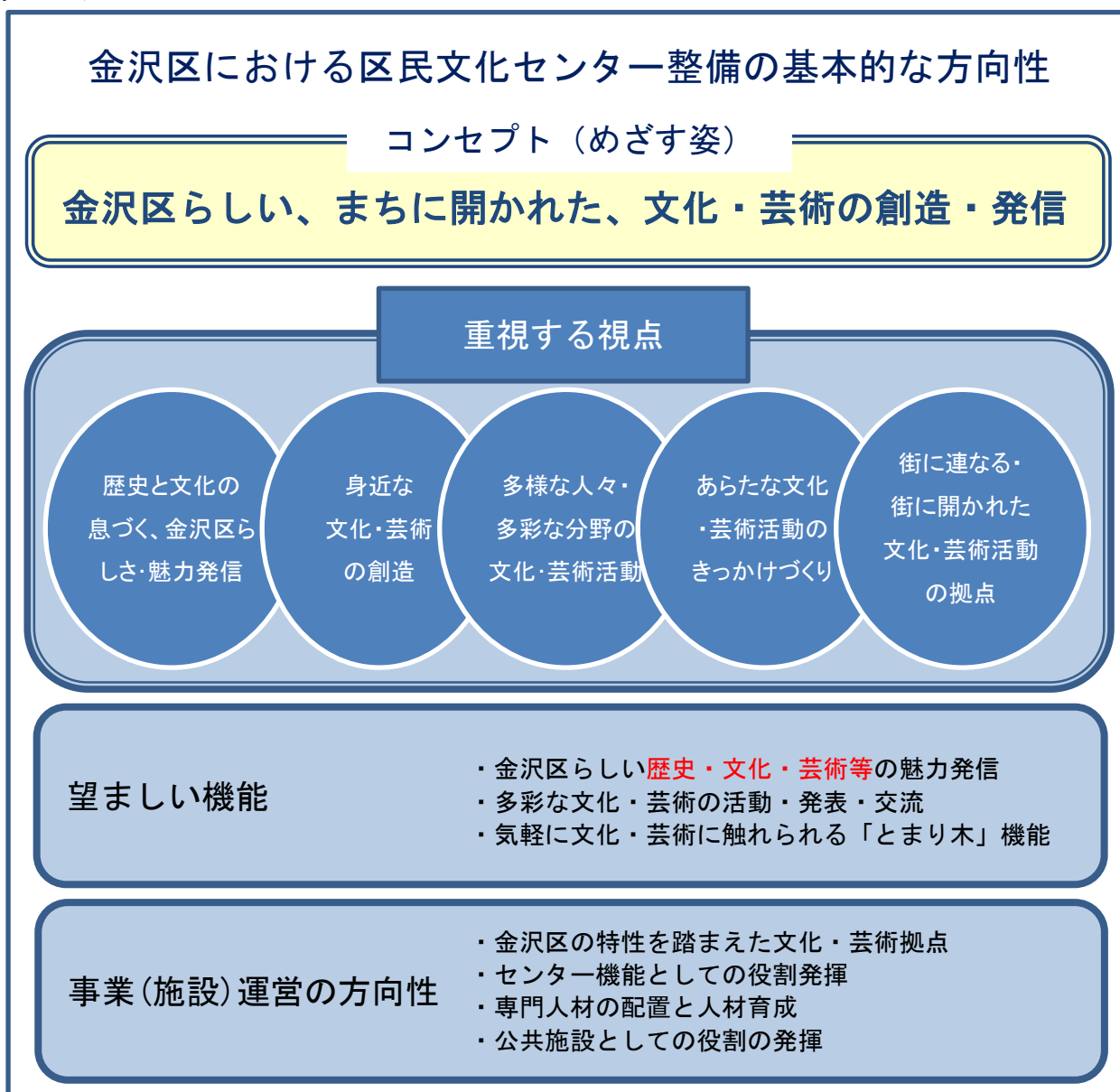
## 第2章 金沢区における区民文化センターのめざす姿について

### 1 コンセプト（めざす姿）

金沢区における区民文化センターがどのような施設となることを目指していくか、その将来像をコンセプト（めざす姿）としてまとめました。このコンセプト（めざす姿）を実現するため、「重視する視点」、「望ましい機能」、「事業（施設）運営の方向性」を設定します。

### 金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信

イメージ



## 2 重視する視点

金沢区の特長、整備候補地と周辺施設との状況、区民文化センターと他の区民等利用施設の役割、区民の文化・芸術活動の取組状況などを鑑み、様々な観点から「重視する視点」としては、次のようにまとめました。

この視点に沿って、区民文化センター整備に向けた基本構想の策定や設計などが進められます。

### ☆〔視点1〕歴史と文化の息づく、金沢区らしさ・魅力発信

〔視点の背景〕

- ・ 六浦・金沢のエリアは、鎌倉時代には幕府の外湊（六浦津）<sup>そとみなと むつうらのつ</sup>として開かれ、鎌倉へ続く朝夷奈切通しは、やぐら群が残るなど往時の姿を比較的良くとどめており、人の営みと自然が一体となった景観は、都市開発の進んだ横浜において大変希少です。金沢北条氏の残した称名寺や金沢文庫と併せて、区内に残された歴史的・文化的資産を巡る人が絶えないエリアです。また、称名寺・金沢文庫所蔵の文物を中心として、横浜市内では金沢区に最も多くの文化財があります。
- ・ 金沢～富岡の旧海岸沿いのエリアには、都心近郊に位置する風光明媚な海浜風景を目当てに、明治期には都心部で活躍する政治家や実業家の別邸・別荘がいくつも建てられ、周辺には料亭なども並びました。旧伊藤博文金沢別邸を残す野島公園や川合玉堂別邸庭園など、形を変えつつ、いくつかは今もその姿が残され、多くの区内外の人々が親しんでいます。また、入海部や海岸の埋め立てによりかつての海岸線は形を変えつつも、平潟湾や海の公園などの水辺空間は大きな魅力のひとつとなっています。
- ・ 金沢・釜利谷のエリアは、丘陵地に豊かな緑地を抱え、金沢自然公園などと併せて、区内外の多くの人々が自然的資産に親しんでいます。また、金沢八景駅西口には、権現山・御伊勢山を後背に、江戸期には海に面して東照宮がありました。東照宮を訪れる上客のための休憩所であった旧円通寺客殿を残し、樹林地と併せて令和4年4月に金沢八景権現山公園として開園しました。現代的な駅舎のすぐそばにたたずむ、かつての海岸線近くにあった丘陵の名残を感じさせる公園です。
- ・ 金沢八景駅及びその周辺は、人の往来・交通の結節点となっています。
- ・ 金沢区の魅力である歴史と多層的な文化を、結節点となる区民文化センターから発信することにより、金沢区らしい文化・芸術活動の拠点となります。

### ☆〔視点2〕身近な文化・芸術の創造

〔視点の背景〕

- ・ 文化・芸術活動をしている区民の、地域における普段の活動の場、発表の場。
- ・ 区民文化センターは、地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するために、設置される「地域文化芸術活動の拠点」です。
- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供。

### ☆〔視点3〕多様な人々・多彩な分野の文化・芸術活動

#### 〔視点の背景〕

- ・ 区内には高齢者が比較的多く、多様な経験を持った区民の地域における活動。
- ・ 区内には2つの総合大学が立地し、10～20代の若者世代の滞在が比較的多い。
- ・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョン<sup>※</sup>の推進。  
※誰もが、社会、地域社会の一員として包括され、生きがいを持って生活することのできる状態を目指す芸術文化による取組のことを幅広く指します。
- ・ 様々な国を背景に持つ方が活動・参加しやすい環境をつくることにより、多彩な文化・芸術活動を推進。
- ・ 従来から盛んな展示系・音楽系の活動のみならず、あらたな分野の活動にも対応した環境づくり。

### ☆〔視点4〕あらたな文化・芸術活動のきっかけづくり

#### 〔視点の背景〕

- ・ 身近な地域で、文化・芸術活動を新たに始める又は再開するきっかけやアートを通じた交流の場の提供。
- ・ 文化・芸術活動に関わる子どもをはじめとした次世代の育成と活動・参加しやすい環境づくり。
- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供。
- ・ 地域における文化を介したネットワークの形成をけん引。
- ・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョンの推進。

### ☆〔視点5〕街に連なる・街に開かれた文化・芸術活動の拠点

#### 〔視点の背景〕

- ・ 区民文化センターの中心的な役割の一つである、身近な場所で文化・芸術に触れる機会の提供。
- ・ 区民文化センターから周辺の街への「にじみ出し」。  
街に開かれたデザインの工夫、建物内の動線・配置の工夫、自主事業の効果的な企画と情報発信。
- ・ 気軽に立ち寄り、文化・芸術に触れて関心が持てる場の提供。
- ・ 金沢八景駅の東側では、土地の区画整理やシーサイドラインの延伸などによって街の姿を大きく変え、平成31年までにおおむねの街の整備が完了しました。区民文化センター整備は、駅前の商業地域内にある市保有の土地を活用できます。
- ・ 金沢八景駅及びその周辺は、人の往来・交通の結節点。

### 3 望ましい機能について

金沢区の特徴、整備候補地と周辺施設との状況、区民文化センターの役割、そして区民の文化・芸術活動の取組状況や区民に望まれている機能などを鑑み、金沢区における区民文化センターに望ましい機能を次のとおりにまとめました。

重視する視点	望ましい機能	想定される機能	想定されるスペース
☆〔視点1〕 歴史と文化の息づく、金沢らしさ・魅力発信	<b>金沢区らしい歴史・文化・芸術等の魅力発信</b>	金沢区らしさ・魅力の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術活動や歴史・文化の情報発信・共有ができる情報コーナーやエントランススペース</li> </ul>
☆〔視点2〕 身近な文化・芸術の創造 ☆〔視点3〕 多様な人々・多彩な分野の文化・芸術活動 ☆〔視点4〕 あらたな文化・芸術活動のきっかけづくり	<b>区民の文化・芸術の活動・発表・交流</b>	音を出す発表や練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>音を出す（音楽、演劇、ダンス等）発表やグループでの練習ができる<b>音楽多目的室</b></li> <li>個人や小グループが音を出す（音楽、映像等）練習などができる<b>防音室</b></li> </ul>
		作品の展示や制作	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の展示や制作、創作ワークショップができる<b>ギャラリー</b></li> </ul>
		文化・芸術セミナーやアート講座	<ul style="list-style-type: none"> <li>セミナー、アート講座、創作ワークショップができる<b>会議室</b></li> </ul>
		<b>文化・芸術活動の情報発信や活動支援、団体間の交流</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化・芸術活動の情報発信や<b>活動支援</b>、多様な団体とコミュニティをつくりやすい交流ができる<b>情報コーナー</b></li> <li>創作ワークショップや作品展示、イベントができる<b>屋上などの屋外スペース</b></li> </ul>
☆〔視点5〕 街に連なる・街に開かれた文化・芸術活動の拠点	<b>気軽に文化・芸術に触れられる「とまり木」機能</b>	文化・芸術の情報発信や交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰でも気軽に文化・芸術に触ることができ、交流や相談ができる<b>情報コーナーやエントランススペース、事務・受付・会議スペース</b></li> <li>気軽に立ち寄ることができる<b>エントランススペース・アプローチ等の屋外スペース</b></li> </ul>

## 4 事業（施設）運営の方向性

多様化する市民ニーズにより効果的、効率的に対応するため、公の施設の管理に民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることを目的に、区民文化センターは指定管理者制度で運営されます。

将来的に金沢区において整備される区民文化センターを運営していくために、検討しておく「運営の方向性」として、次のとおりにとまとめました。

重視する視点	事業（施設）運営の方向性
☆〔視点1〕 歴史と文化の息づく、金沢区らしさ・魅力発信	☆金沢区の特性を踏まえた文化・芸術活動拠点 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歴史的・文化的資産が多く、また交通の結節点という金沢八景駅前の立地を生かした、金沢区の歴史的・文化的な情報の提供。</li> <li>・ <b>金沢公会堂や金沢地区センター等との場所や機能のすみ分け・連携。</b></li> </ul> 金沢公会堂（講堂、多目的室、会議室、和室ほか）、金沢地区センター（会議室、和室、プレイルーム、料理室、体育室ほか）
☆〔視点2〕 身近な文化・芸術の創造 ☆〔視点3〕 多様な人々・多彩な分野の文化・芸術活動 ☆〔視点4〕 あらたな文化・芸術活動のきっかけづくり	☆センター機能としての役割の発揮 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様な立場の人が興味を持ち参加しやすく、身近な場所で気軽に文化・芸術に触れることができる場の提供及び自主事業の効果的な企画と情報発信。</li> <li>・ 文化・芸術活動、歴史・文化等の多彩な分野、利用者・団体間等、これらをつなぐハブ機能の発揮。そのための交流・相談しやすい仕掛けと雰囲気づくり。</li> <li>・ 積極的なアウトリーチ活動の企画・情報発信。文化活動団体や他の市民利用施設等と連携した企画・運営の検討。</li> <li>・ 区民文化センターに期待される役割のひとつである、ソーシャルインクルージョンの推進。</li> <li>・ 文化・芸術活動に関わる子どもをはじめとした次世代の育成、活動・参加しやすい自主企画・運営等の推進。</li> <li>・ 使いやすい利用時間設定等による弾力的な運営。</li> </ul> ☆専門人材の配置と人材育成 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域における文化を介したネットワークの形成をけん引。</li> <li>・ 文化事業、アートプロジェクトなどの文化活動における専門的な支援や区内外の施設間を繋ぐ役割を果たすコーディネーター人材の配置。コミュニケーションを促す運営として、交流・相談しやすい仕掛けと雰囲気づくり。</li> <li>・ 施設管理者と利用者との交流、利用者とともに育っていく施設運営。</li> </ul>

重視する視点

☆〔視点5〕  
街に連なる・街に  
開かれた文化・芸  
術活動の拠点

事業(施設)運営の方向性

☆公共施設としての役割の発揮

- ・ 気軽に立ち寄れて、文化・芸術に触れることができる「とまり木」のような場の提供。交流・相談しやすい仕掛けと雰囲気づくり。
- ・ 金沢八景駅前～周辺エリアのつながり・ネットワークの形成を進めることで、金沢区心部の回遊性を高める拠点の一つとなることに寄与する。
- ・ 災害対応機能の付加及び周辺施設との連携体制の構築。  
津波避難（概ね3階以上の建物であること）、駅前という立地から帰宅困難者の一時避難等
- ・ SDGs に配慮した企画・施設運営。



## 第3章 金沢区における区民文化センターの施設機能・構成について

### 1 施設全体の考え方

金沢区における区民文化センターの整備にあたっては、基本的な方向性において「金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信」というコンセプト（めざす姿）を掲げました。そのコンセプト（めざす姿）を実現するとともに、利用者にとって使いやすい機能やレイアウトに配慮した施設機能・構成となる必要があります。また、他区の区民文化センターと違い、大型複合施設の中に整備されるのではなく、建物全体が区民文化センターとして利用される施設として整備（単館整備）されることを十分に考慮する必要があります。そのため、施設全体の機能・構成には工夫や配慮が求められます。

また、単館での整備となるメリットを十分に発揮するために、街に開かれたデザイン、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりの工夫、特に1階の機能配置や設えに十分に配慮した施設となることが望まれます。区民の文化・芸術活動が街ににじみ出し、新たな交流が生まれるような雰囲気づくり、仕掛けづくりが重要となります。そのためには利用者だけではなく、目的がなくても一人でふらっと、いつでも立ち寄れるような区民に親しまれる区民文化センターになることが望まれます。

このような施設にするための配慮事項を、次のとおりまとめました。

## 施設全体における配慮事項

### 【ニーズに合った諸室の規模・配置計画】

- ・大規模なホールは金沢公会堂・講堂の利用が見込まれることもあり、区内の市民利用施設に不足している展示スペース（ギャラリー）や小規模な発表ができる諸室（音楽多目的室等）を配置することが求められています。
- ・文化・芸術活動団体の規模や利用者のニーズに合わせ、柔軟に対応できる**諸室の設え**が求められます。
- ・可変性と柔軟性のある施設活用ができるように**諸室の設え等の工夫**をすることで、多様な人々・多彩な分野の活動や将来ニーズにも対応できる施設とすることが望まれます。

### 【みんなを迎えるグランドレベルの設えと工夫】

- ・金沢八景駅周辺のデザインガイドラインに則した、金沢区らしさを持った魅力的な外観となることが求められます。
- ・歩道から建物に入るまでのアプローチ等の屋外空間は、単なる通路としてではなく、誰でも気軽に立ち寄れる区民文化センターの顔として、可能な限りまとまりのある広さを確保して「とまり木」としての役割を発揮するとともに、様々な活用ができるように配慮することが望まれます。
- ・気軽に立ち寄れる雰囲気づくり、利用者同士の文化・芸術活動の交流やコーディネーター等専門人材との相談しやすい仕掛けと雰囲気づくりを目的とした、ドリンク提供等カフェのようなコミュニケーションを促す運営及び什器の設置検討も望まれます。

### 【やさしい設えと工夫・利用しやすい動線の確保】

- ・誰もが安心・安全かつ快適に利用できるように、**地上階から最上階まで段差なく移動できるなどのバリアフリー化**、ユニバーサルデザインや**感染症対策**に配慮した施設とすることが求められます。また、デザインの工夫によるわかりやすい施設内表示とすることも望まれます。
- ・一般利用として利用される部分だけでなく、企画主催の利用者や指定管理者が使用するバックヤード等にも配慮し、資機材や作品等の搬入・搬出の**ための段差の無い動線**、倉庫の大きさなどは、十分なスペースを確保することが望まれます。
- ・利用者動線と搬出入動線（バックヤード動線）を明確に分け、利用者の利便性に配慮することが望まれます。
- ・近年の活動環境を考慮して、**全館において Wi-Fi 環境を整備**することが望まれます。

### 【駅前の立地特性を考慮した施設計画】

- ・デザインの工夫などで近隣の防犯やプライバシーに配慮した計画に努めることが求められます。
- ・駅前の立地であることを考慮し、駐車・駐輪スペースは法令上必要な台数の整備とし、アプローチ等の屋外空間のスペースを確保することが望まれます。
- ・駅前の立地の公共施設であることから、災害時の避難に対応できる機能が望まれます。

## 2 各諸室の考え方

施設全体の考え方を踏まえ、各諸室及び付属室の内容や整備にあたって配慮すべき点などについてまとめると、次のとおりとなります。

### (1) 音楽多目的室

室名等	配慮事項
音楽多目的室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前室を備えた防音仕様とし、音楽や演劇、ダンス等の練習、発表ができる舞台性能及び音響性能を確保し、舞台音響・照明・機構を備える。</li> <li>・講演会、上映会等もできる機能を備える。</li> <li>・100～150席程度の来場者用椅子を並べることができ、あわせて小規模な舞台を設えられるスペースが望ましい。</li> <li>・床面は平土間形式とし、演劇やダンス等に適した仕上げとする。</li> <li>・来場者と出演者の動線（出入口）を分け、出演者動線（出入口）は、<sup>かみて</sup>上手・<sup>かみて</sup>下手の両方から控室等のバックヤードに移動できるように配慮する。</li> <li>・発表利用時の来客の滞留を想定し、前室前のスペース配置に配慮する。</li> </ul> <p>[想定される備品等]</p> <p>客席用・出演者用椅子／舞台照明／舞台機構／音響映像設備（マイク・スピーカー・スクリーン・プロジェクター・音響映像プレイヤー等）／IoT コンセント／Wi-Fi 設備／壁一面鏡張り など</p>
控室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・出演者動線（出入口）及びバックヤードからアクセスできる位置とし、動線に配慮し、音楽多目的室に近接した配置とする。</li> <li>・洗面台や化粧前等を備えることが望ましい。</li> </ul>
ピアノ庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドピアノを搬出入できるよう動線に配慮し、音楽多目的室に近接した配置とする。</li> <li>・調温・調湿ができる個別空調を備える。</li> </ul>
備品庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽多目的室で使う椅子等の収納のため、近接した配置とする。</li> <li>・バックヤード動線からの備品類の搬出入動線に配慮する。</li> </ul>

## (2) 防音室

室名等	配慮事項
防音室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6～8名程度の少人数の楽器練習やバンド練習等がしやすい規模を想定し、2部屋程度を設け、前室を備えた防音仕様とする。</li> <li>・ 個人練習、軽音楽、バンド練習等を想定するが、映像撮影など音楽以外の音を出す活動に利用できるなど、幅広い活用ができる仕様とするよう配慮する。</li> </ul> <p>[想定される備品等]</p> <p>ピアノ／大型貸出用楽器（ドラムセット・キーボード・音響装置・アンプ類等）／姿鏡／Wi-Fi 設備 など</p>

## (3) ギャラリー

室名等	配慮事項
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画、写真、彫刻、書、工芸、生け花などの創作活動の展示・発表ができる機能を備える仕様とする。</li> <li>・ 標準的な広さ・壁長を備えた規模とし、大型作品も展示できるような天井高さを確保する。また壁面にはピクチャーレールを備える。</li> <li>・ 可動式パーティション等により、部屋を分けて使ったり、展示壁面を確保したりできるなど、可変性のある活用ができる仕様とする。</li> <li>・ 可変性のある照明演出ができるような設備を備える。</li> <li>・ 展示作品の搬出入時の動線を確保する。</li> <li>・ 自然光で展示できる設えを検討するなど、多種多様な作品展示への対応に配慮する。</li> <li>・ 創作ワークショップ等の利用や映像投影を想定して、ツヤなし・白色の壁を1面は備えるよう検討する。</li> <li>・ 床面の仕様はワークショップ等の利用も想定したものを検討する。</li> </ul> <p>[想定される備品等]</p> <p>可動式間仕切／展示用照明設備（ライティングレール・スポットライト等）／プロジェクター／展示机／ピクチャーレール／受付用机・椅子／壁一面ツヤなし・白色／開口部に遮光機能／Wi-Fi 設備 など</p>
控室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主催者控室としての利用を想定し、ギャラリーに近接した配置とする。</li> <li>・ 創作ワークショップ等で利用できる、水道・流し台の設置を検討する。</li> </ul>
備品庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 展示用備品等の収納のため、ギャラリーに近接した配置とする。</li> </ul>

#### (4) 会議室

室名等	配慮事項
会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議、講演会・セミナー、創作ワークショップやアート講座など多機能での利用を想定し、25名程度が入れる広さで2部屋程度を設ける。可動式間仕切等により、2室を一体で利用できる等の可変性を備えた仕様とすることが望ましい。</li> <li>・創作ワークショップ等の利用や映像投影を想定して、ツヤなし・白色の壁を1面は備えるよう検討する。</li> </ul> <p>[想定される備品等]</p> <p>椅子・長机／可動式間仕切／ホワイトボード／音響設備（マイク）／プロジェクター／ピクチャーレール／IoT コンセント／Wi-Fi 設備／壁一面ツヤなし・白色／開口部に遮光機能 など</p>
備品庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・椅子・長机等が十分に収納できるスペースを確保し、会議室に近接した配置とする。</li> </ul>

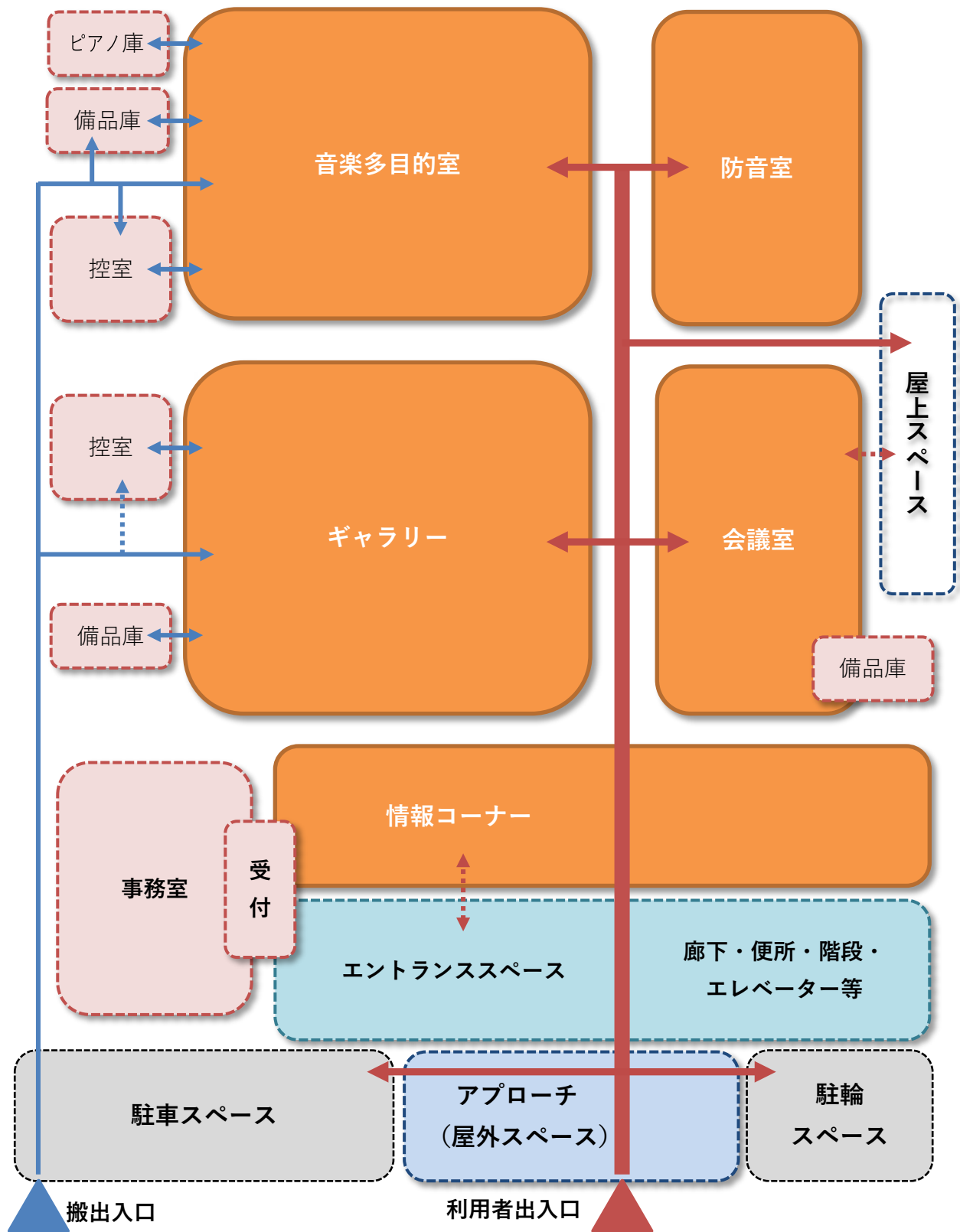
#### (5) 情報コーナー

室名等	配慮事項
情報コーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エントランススペースに隣接した外部から見やすい場所に配置し、気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気の設定とする。</li> <li>・エントランススペースと一体的な活用などができるよう配慮した設定とし、「とまり木」機能としての役割を發揮できるように工夫する。</li> <li>・事務室と近接した配置とし、利用者同士の文化活動の交流やコーディネーター等専門人材との相談しやすい仕掛けと雰囲気づくりを目的として、ドリンク提供などカフェのようなコミュニケーションを促す運営及び什器等の設置を検討する。</li> </ul> <p>[想定される備品等]</p> <p>パンフレットスタンド／デジタルサイネージ／IoT コンセント／Wi-Fi 設備／スツール・昇降テーブル／冷蔵庫・コーヒーマシン など</p>

## (6) その他

室名等	配慮事項	
エントランス スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気・設えとする。</li> <li>・金沢八景駅からアクセスしやすく、視認性の高い配置に配慮する。</li> <li>・情報コーナーに隣接した配置とし、一体的な活用などができるように配慮する。</li> <li>・小規模イベントなどでの活用も想定した設えを検討する。</li> </ul>	
事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来館者がわかりやすい場所に受付等を配置するとともに、オープンな雰囲気で、気軽に相談等ができるよう配慮する。</li> <li>・打合せスペース等は、情報コーナーなど隣接するスペースと併せて柔軟な利用ができるような設え・什器の設置を検討する。</li> </ul>	
屋外施設	屋上スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上を創作ワークショップ等で利用できるような設え・設備を検討する。</li> </ul> <p>[想定される備品等]</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>電源／水道・流し台／オーニング（日除け）／<b>屋外用テーブル・椅子</b> など</p> </div>
	アプローチなどの 1階屋外スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気となるよう、特にアプローチなど1階屋外スペースとエントランススペース周辺は工夫した設えとする。</li> </ul>
	駐車・駐輪スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地の三面が道路に面しているため、駐車・駐輪スペースは歩行者や来館者にとって安全な配置・設えとする。</li> <li>・搬出入用駐車スペースからバックヤード・搬出入動線を確認する。</li> <li>・駐車・駐輪スペースは開館時間のみ利用できる運用とするなど、来館者の利用が妨げられない仕組みなどを検討する。</li> </ul>
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーであることはもちろんのこと、誰でも使いやすい<b>男女トイレ</b>や<b>多機能トイレ</b>とする。</li> <li>・子育て世代が使いやすいような設備を男女トイレそれぞれに設けるよう検討する。</li> </ul>	
<b>その他</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>安心して利用できる授乳スペース</b>を設けるよう検討する。</li> </ul>	

機能配置イメージ



凡例： — 利用者動線  
— 搬出入動線

※このイメージ図は、実際のレイアウトを示すものではありません。

# 参考資料

## 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会条例

令和 4 年 3 月 1 日

条 例 第 2 号

(設置)

第 1 条 金沢区における区民文化センターの基本構想に関する事項を調査審議するため、市長の附属機関として、横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会（以下「委員会」という。）を置く。

(所掌事務)

第 2 条 委員会は、市長の諮問に応じて、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項について調査審議し、答申し、又は意見を具申する。

- (1) 金沢区における区民文化センターの基本構想の検討に関する事項
- (2) その他市長が必要と認める事項

(組織)

第 3 条 委員会は、市長が任命する委員 15 人以内をもって組織する。

(委任)

第 4 条 この条例に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、公布の日から施行する。

(この条例の失効)

2 この条例は、第 2 条第 1 号に掲げる基本構想に係る答申を市長が受けた日限り、その効力を失う。



## 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会運営要綱

制 定 令和4年7月25日 金政第262号（区長決裁）

（趣旨）

第1条 この要綱は、横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会条例（令和4年3月横浜市条例第2号。以下「条例」という。）に基づき設置される、横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

（委員）

第2条 委員は、次に掲げる者のうちから市長が任命する。

- (1) 学識経験者
- (2) 文化芸術団体
- (3) 地域活動団体
- (4) 文化活動団体
- (5) 市民活動団体
- (6) その他市長が必要と認める者

2 委員の任期は、条例第1条の基本構想にかかる答申を市長が受けた日までとする。

3 委員の代理は、認めないものとする。

（委員長）

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選によって定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。

4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員が、その職務を代理する。

（会議）

第4条 委員会の会議は、委員長が招集する。ただし、委員長が選出されていないときは、市長が行う。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（会議の公開）

第5条 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（平成12年2月横浜市条例第1号）第31条の規定に基づき委員会の会議は公開とする。

（意見の聴取等）

第6条 委員長は、委員会の会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

（庶務）

第7条 委員会の庶務は、金沢区総務部区政推進課において処理する。

（委任）

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和4年7月25日から施行する。

横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 委員名簿

(五十音順、敬称略)

氏名	所属等	分野
赤江 直美 (あかえ なおみ)	神奈川県民ホール（指定管理者：公益財団 法人神奈川芸術文化財団） 副館長	文化芸術団体
浅葉 弾 (あさば だん)	金沢文庫芸術祭実行委員会 実行委員長	文化活動団体
阿部 きみえ (あべ きみえ)	金沢区民文化祭実行委員会 副委員長	文化活動団体
北原 まどか (きたはら まどか)	特定非営利活動法人 森ノオト 理事長	市民活動団体
鈴木 達洋 (すずき たつひろ)	特定非営利活動法人 横浜金沢文化協会 事務局長	文化活動団体
鈴木 伸治 (すずき のぶはる)	横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 教授	学識経験者
津軽石 昭彦 (つがるいし あきひこ)	関東学院大学 社会連携センター長	学識経験者
三輪 律江 (みわ のりえ)	横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科 教授	学識経験者
横井 正巳 (よこい まさみ)	金沢区町内会連合会 会長	地域活動団体

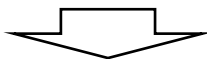
## 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会 検討経緯

第1回 令和4年9月22日（木）午前9時30分～11時30分

●基礎情報の共有

- ・横浜市の区民文化センターの概要
- ・他区における区民文化センターの整備事例
- ・金沢区の概要と特性
- ・金沢区内施設・近隣施設の利用状況
- ・金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要
- ・市内外の他文化施設におけるアウトリーチの実例など

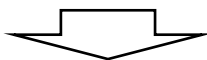
●基本的な方向性についての確認、意見交換・議論



第2回 令和4年10月17日（月）午後1時～3時

●前回委員会の振り返り

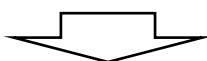
●基本的な方向性、答申構成案などについての議論



第3回 令和4年11月14日（月）午後1時～3時

●前回委員会の振り返り

●めざす姿、施設機能・構成等についての議論



第4回 令和4年12月15日（木）午前9時30分～11時30分

●前回委員会の振り返り

●答申案についての議論・確定

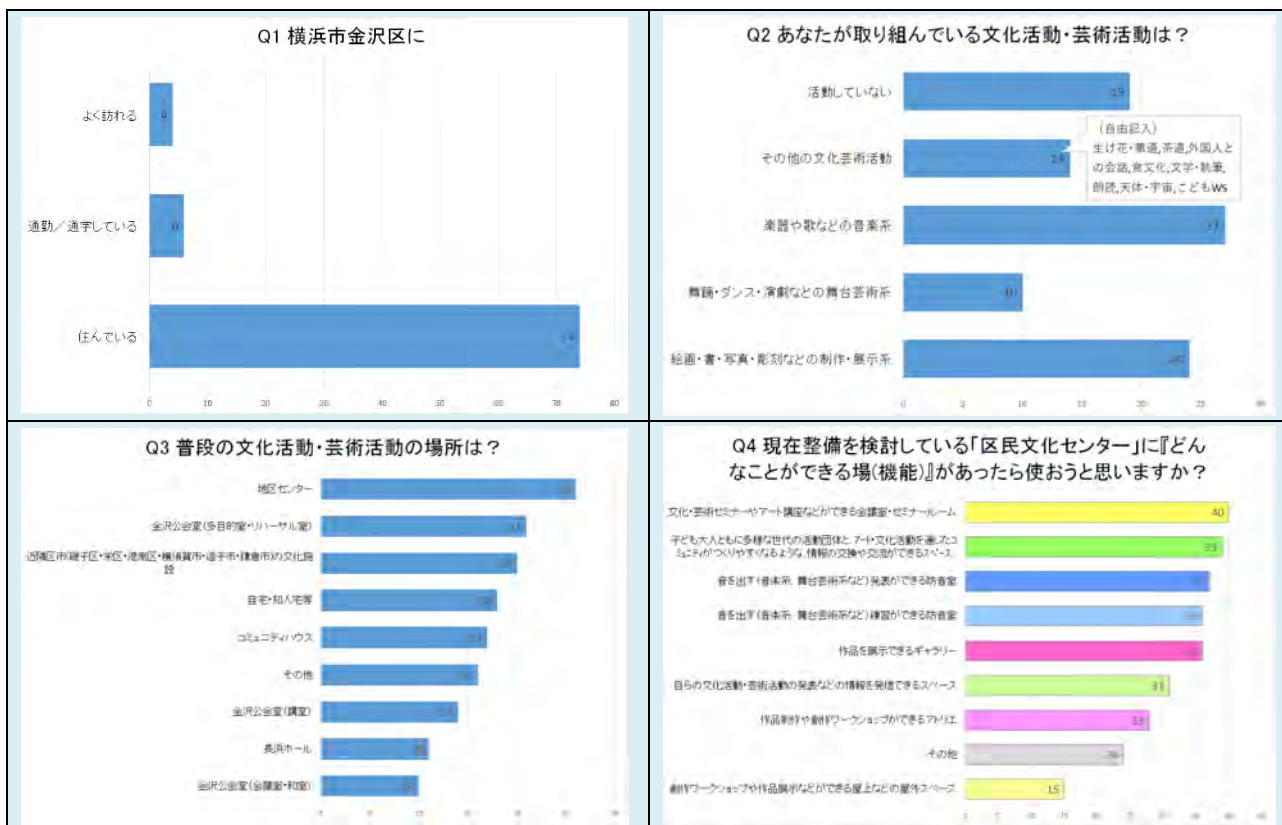
## 市民意見募集の結果概要

### 1 市民意見募集の実施概要

- (1) 主に募集した内容 『区民文化センターに望む機能（どんなことをできる場がほしいか）』
- (2) 募集期間 令和4年7月21日(木)午前10時～令和4年8月15日(月)午後5時
- (3) 提出方法と提出先 金沢区役所 区政推進課 企画調整係
  - ・金沢区役所ホームページ内の入力フォーム（横浜市電子申請届出システム）
  - ・回答用紙をファクス・郵送にて送信

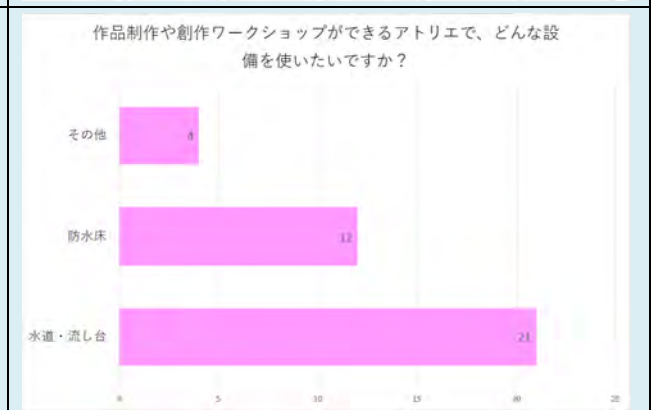
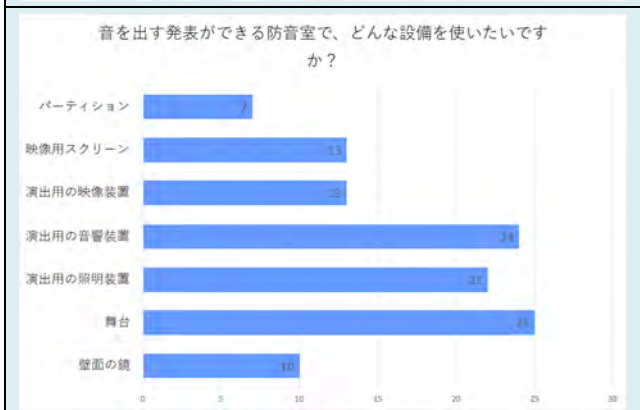
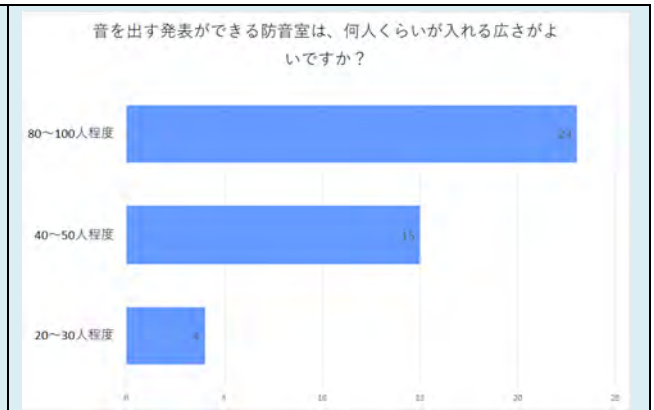
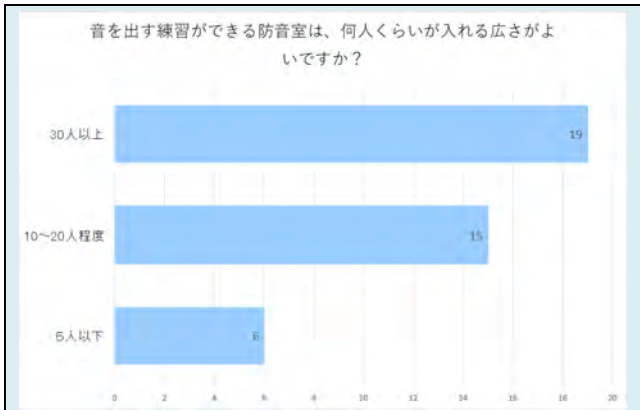
### 2 市民意見募集の結果

- (1) 回答数 83件（横浜市電子申請届出システム48件、ファクス・郵送等の紙35件）
- (2) 集計結果
  - 単純集計



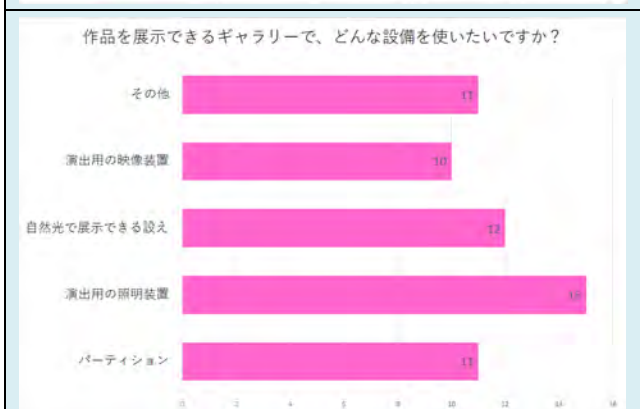
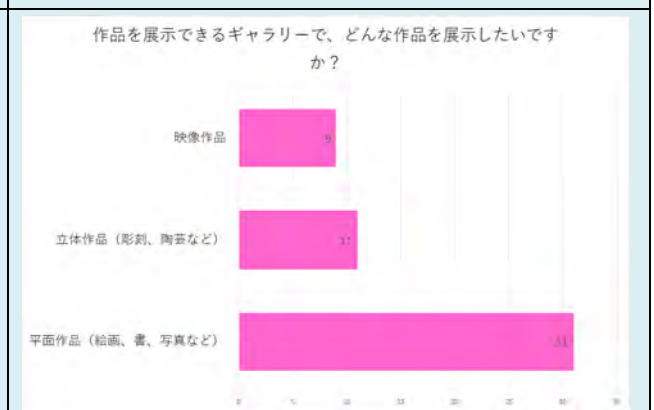
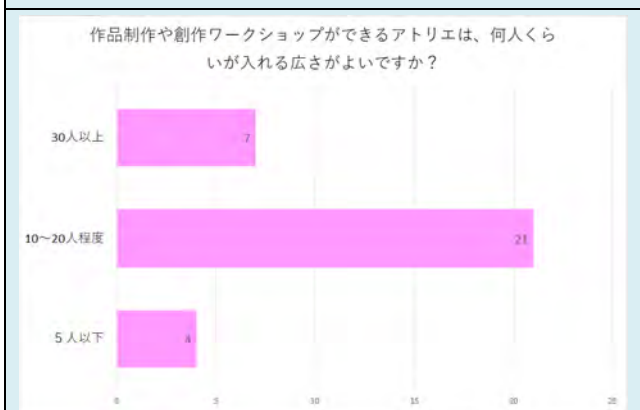
Q4回答・その他にあったら使おうと思う機能(4~1者が回答)：

- 【音楽系・舞台芸術系の機能】200~300人規模の音楽ホール、200人入る能舞台、ダンス練習ができるリハーサル室
- 【伝統芸能系の機能】お茶会ができる和室、水屋、炭が使える和室・茶室、伝統的芸術活動が学べて指導できる施設、生け花や茶道など日本文化を誰でも楽しめる場所
- 【体験系の機能】ミニ体験講座などを開催できるスペース、平日夜間や土日曜日など、働く人も参加しやすいイベント開催
- 【情報系の機能】横浜金沢の歴史・文化の情報が得られるスペース、動画配信ができるスタジオなど現代的な活動に対応した環境
- 【建物設備系】ロッカー、通年利用できるロッカー、屋上に太陽光発電設備、(駐車場でなく、送りの車が寄せられる)降車スペース、駐車場
- 【その他の機能】体操教室、100人程度が飲食しながら懇談・交流できるスペース、生涯学習センターの拠点、幼児・児童と家族が交流できるスペース、日本語を学ぶ外国人と金沢区民と一緒に活動できるスペース、天体観測ができる屋上スペース、建物でなく芝生広場、普段から自由に利用できておしゃべりできる場・仕事などができる場、高齢者優先の場所



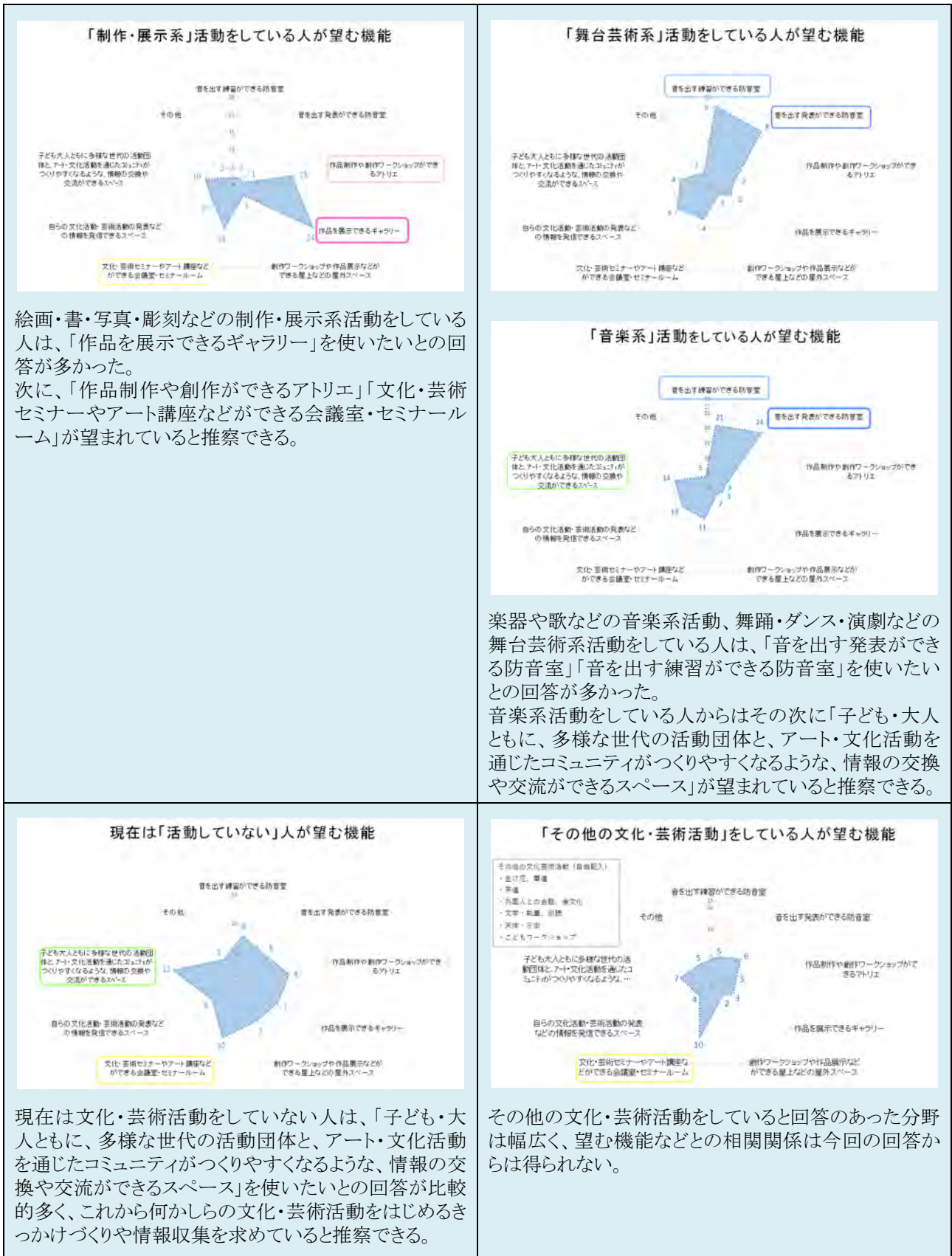
その他に音を出す発表ができる防音室で使いたい設備：  
バレエバー、ピアノ、ドラムセットなど大型打楽器、緞帳、楽屋、web 配信や web 会議などができる通信設備

その他に作品制作や創作ワークショップができるアトリエで使いたい設備：  
スクリーン、PC 接続できるモニター、陶芸設備、空気清浄機



その他に作品を展示できるギャラリーで使いたい設備：  
グループ展が可能な広さ、搬出入しやすいエレベーター、小さな作品を展示するための什器やケース、大型作品の展示が可能、良い照明設備、白い壁、PC 接続できるモニター

● クロス集計1:文化・芸術活動の分野×望む機能(区文があれば使いたい機能)



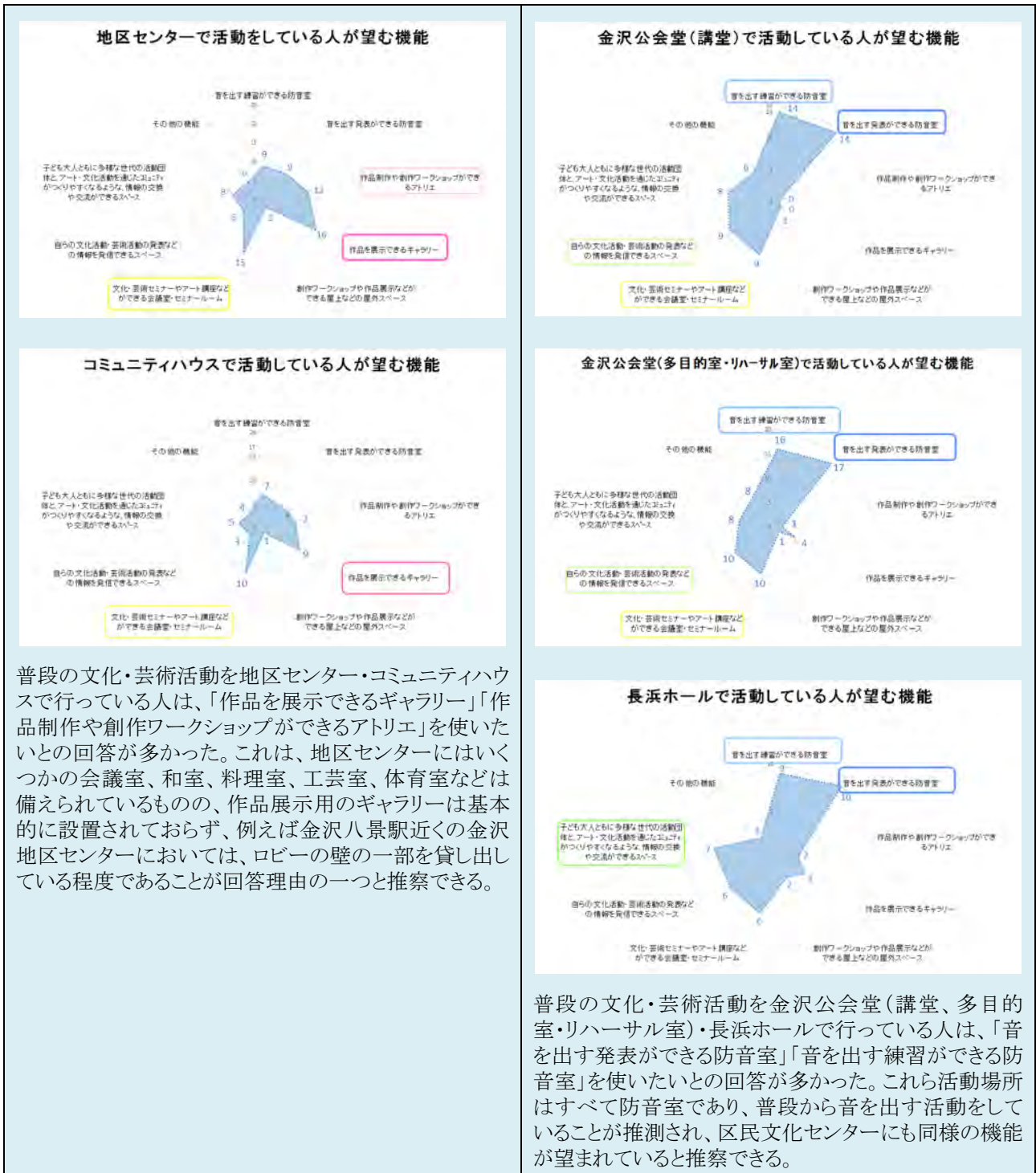
絵画・書・写真・彫刻などの制作・展示系活動をしている人は、「作品を展示できるギャラリー」を使いたいとの回答が多かった。  
 次に、「作品制作や創作ができるアトリエ」「文化・芸術セミナーやアート講座などができる会議室・セミナールーム」が望まれていると推察できる。

楽器や歌などの音楽系活動、舞踊・ダンス・演劇などの舞台芸術系活動をしている人は、「音を出す発表ができる防音室」「音を出す練習ができる防音室」を使いたいとの回答が多かった。  
 音楽系活動をしている人からはその次に「子ども・大人ともに、多様な世代の活動団体と、アート・文化活動を通じたコミュニティが作りやすくなるような、情報の交換や交流ができるスペース」が望まれていると推察できる。

現在は文化・芸術活動をしていない人は、「子ども・大人ともに、多様な世代の活動団体と、アート・文化活動を通じたコミュニティが作りやすくなるような、情報の交換や交流ができるスペース」を使いたいとの回答が比較的多く、これから何かしらの文化・芸術活動をはじめると推察できる。

その他の文化・芸術活動をしていると回答のあった分野は幅広く、望む機能などとの相関関係は今回の回答からは得られない。

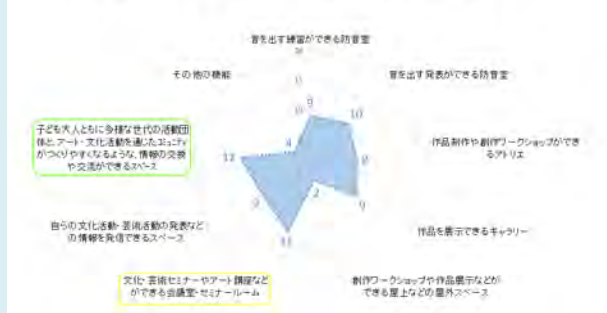
● クロス集計2:文化・芸術活動の普段の活動場所×望む機能(区文があれば使いたい機能)



普段の文化・芸術活動を地区センター・コミュニティハウスで行っている人は、「作品を展示できるギャラリー」「作品制作や創作ワークショップができるアトリエ」を使いたいとの回答が多かった。これは、地区センターにはいくつかの会議室、和室、料理室、工芸室、体育室などは備えられているものの、作品展示用のギャラリーは基本的に設置されておらず、例えば金沢八景駅近くの金沢地区センターにおいては、ロビーの壁の一部を貸し出している程度であることが回答理由の一つと推察できる。

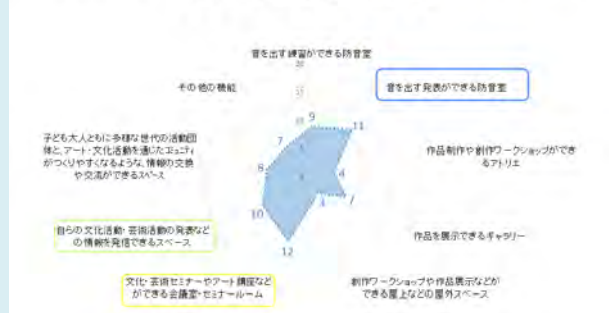
普段の文化・芸術活動を金沢公会堂(講堂、多目的室・リハーサル室)・長浜ホールで行っている人は、「音を出す発表ができる防音室」「音を出す練習ができる防音室」を使いたいとの回答が多かった。これら活動場所はすべて防音室であり、普段から音を出す活動をしていることが推測され、区民文化センターにも同様の機能が望まれていると推察できる。

### 自宅・知人宅等で活動している人が望む機能

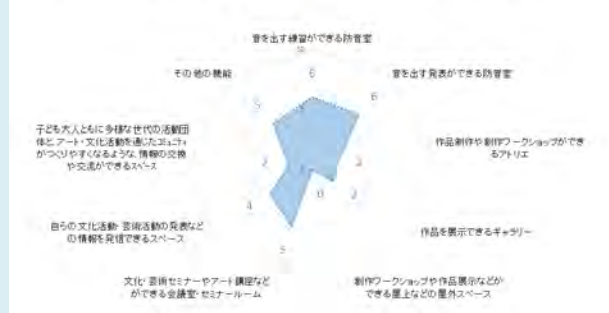


普段の文化・芸術活動を自宅・知人宅等で行っている人は、「子ども・大人ともに、多様な世代の活動団体と、アート・文化活動を通じたコミュニティが作りやすくなるような、情報の交換や交流ができるスペース」「文化・芸術セミナーやアート講座などができる会議室・セミナールーム」を使いたいとの回答が比較的多く、特別な設備というより他団体等との交流や情報収集などの機会とスペースを求めていると推察できる。

### 近隣区市(磯子区・栄区・港南区・横須賀市・逗子市・鎌倉市)の文化施設で活動している人が望む機能



### 金沢公会堂(会議室・和室)で活動している人が望む機能



### その他施設で活動している人が望む機能



普段の文化・芸術活動を近隣区市の文化施設、その他施設と回答のあった場所は文化施設に限らない様々な施設であり、また金沢公会堂の会議室・和室と回答のあった人の活動は幅広い分野であると推察され、望む機能などとの相関関係は今回の回答からは得られない。

### (3) Q5 回答・現在整備を検討している「区民文化センター」に、期待すること

区民文化センターの整備を待望している意見が大半を占め、早い時期の開館希望、具体的に使いたい機能や設備・備品の希望などの記載が多かった。他に、文化施設以外ではあるが、既存の区民利用施設の運営や設備・備品への不満・不足と併せて新しい施設への期待、大型ホールは不要・コンパクトな文化の殿堂となることへの期待、そもそも施設不要の意見もあった。



(4)「意見募集の概要と回答用紙(配布資料)」 表面

【市民意見募集】



金沢区における区民文化センターの整備に向けて  
ご意見を募集します！  
～文化・芸術活動ができる施設に望む『機能』は？

区民の皆さまが身近に文化芸術に接し、幅広い分野の文化・芸術活動を活発に行うことができるよう、金沢八景駅前  
の商業地域にある市有地を候補地（右図参照）として、  
区民文化センターの整備に向けた検討を進めています。

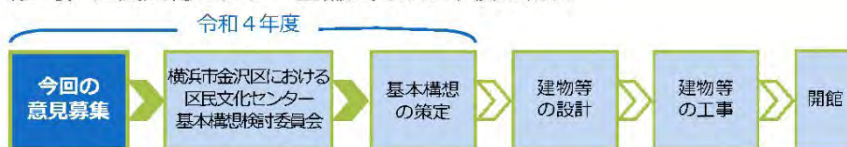
令和4年度は、有識者等からなる委員会において、文化  
施設として必要な機能や配置などについて議論され、横浜  
市へのご意見をいただきます。

そこで、『区民文化センターに望む機能（どんなことを  
できる場がほしいか）』について、皆さまの文化・芸術活  
動の経験などから、ご意見をお寄せください！



募集期間	<b>令和4年7月21日(木)午前10時～令和4年8月15日(月)午後5時【必着】</b>	
募集概要と 回答用紙の 公開・配布	<p>金沢区役所ホームページにて パソコンから↓      スマートフォンから→</p> <p>金沢区 区民文化センター 意見募集 <input type="button" value="検索"/></p> <p>又は、 金 沢 区 役 所：6階602企画調整係 1階101総合案内／広報相談係・ちらし配架コーナー 地 区 セ ン ター：金沢、釜利谷、富岡並木、能見台、六浦 コミュニティハウス：小田、大道、富岡、並木、並木北、西金沢、八景、六浦南、柳町</p>	
提出方法と 提 出 先	<p>金沢区役所 区政推進課 企画調整係</p> <p>(1) 金沢区役所ホームページ内の入力フォームへ→</p> <p>(2) 回答用紙(裏面)をファクス・郵送にて送信 【ファクス】045-786-4887 【郵送】〒236-0021 横浜市金沢区泥亀2-9-1</p>	 <div data-bbox="1129 1615 1353 1742" style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> <p>簡単！ おすすめです！ 所要時間は 5分程度</p> </div>

(参考) 区民文化センター整備に向けた今後の流れ



発行・お問合せ 横浜市金沢区役所区政推進課

TEL 788-7729 FAX 786-4887

※ファクス又は郵送で提出の場合はこの回答用紙に記入して送信ください

市民意見募集<回答用紙>

金沢区における区民文化センターの整備に向けて、ご意見を募集します！～文化芸術活動ができる施設に望む「機能」は？～ 該当する選択肢に☑チェックを入れてください。複数回答可。

Q.1 横浜市金沢区に 住んでいる 通勤/通学している よく訪れる その他 ( )

Q.2 あなたが取り組んでいる文化活動・芸術活動は？  
絵画・書・写真・彫刻などの制作・展示系 舞踊・ダンス・演劇などの舞台芸術系  
楽器や歌などの音楽系 その他の文化芸術活動 ( ) 活動していない  
 →Q.4へ

Q.3 普段の文化活動・芸術活動の場所は？  
地区センター コミュニティハウス 金沢公会堂（講堂） 金沢公会堂（会議室・和室）  
金沢公会堂（多目的室・リハーサル室） 長浜ホール 自宅・知人宅等  
近隣区市（磯子区・栄区・港南区・横須賀市・逗子市・鎌倉市）の文化施設  
その他 ( )

Q.4 現在整備を検討している「区民文化センター」に『どんなことができる場(機能)』があったら使おうと思いますか？

音を出す（音楽系、舞台芸術系など）練習ができる防音室  
 →何人くらいが入れる広さがよいですか？  
5人以下 10～20人程度 30人以上



防音室イメージ

音を出す（音楽系、舞台芸術系など）発表ができる防音室  
 →何人くらいが入れる広さがよいですか？  
20～30人程度 40～50人程度 80～100人程度  
 →どんな設備を使いたいですか？  
壁面の鏡 舞台 演出用の照明装置 演出用の音響装置 演出用の映像装置  
映像用スクリーン パーティション その他 ( )

作品制作や創作ワークショップができるアトリエ  
 →何人くらいが入れる広さがよいですか？  
5人以下 10～20人程度 30人以上  
 →どんな設備を使いたいですか？  
水道・流し台 防水床 その他 ( )



屋外スペースイメージ

作品を展示できるギャラリー  
 →どんな作品を展示したいですか？  
平面作品（絵画、書、写真など） 立体作品（彫刻、陶芸など）  
映像作品 その他 ( )  
 →どんな設備を使いたいですか？  
パーティション 演出用の照明装置 自然光で展示できる設え  
演出用の映像装置 その他 ( )



情報発信スペースイメージ

創作ワークショップや作品展示などができる屋上などの屋外スペース  
文化・芸術セミナーやアート講座などができる会議室・セミナールーム  
自らの文化活動・芸術活動の発表などの情報を発信できるスペース  
子ども・大人ともに、多様な世代の活動団体と、アート・文化活動を通じたコミュニティが  
 つくりやすくなるような、情報の交換や交流ができるスペース  
その他（書き方例；○○ができる○○）  
 ( )

Q.5 現在整備を検討している「区民文化センター」に、期待することはありますか？  
 ( )

ご協力ありがとうございました！

【提出先】金沢区役所 区政推進課 企画調整係  
 （入力フォーム）横浜市電子申請・届出システム→  
 （ファクス）045-786-4887  
 （郵送）〒236-0021横浜市金沢区泥亀2-9-1



## 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想 答申(案)概要版

令和 年 月 | 横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会

横浜市では、区民が身近に文化芸術に接し、幅広い分野の文化・芸術活動を行うことができるよう、金沢区における区民文化センターの整備に向けた検討が始まり、基本構想の検討にあたって、市長の附属機関として「横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会」が設置されました。

重視する視点や望ましい機能、運営の方向性などのめざす姿について、また施設機能などについて、本委員会で議論し、その結果を答申としてまとめました。本書はその概要版となります。

### 横浜市の区民文化センターの概要 【第1章-1】

区民文化センターは、地域に根差した個性ある文化の創造に寄与するために、横浜市区民文化センター条例に基づき設置される「地域文化芸術活動の拠点」です。

### 金沢区の概要と特性 【第1章-2】

金沢区は、森、川、海といった自然環境に恵まれており、また、鎌倉時代から近代を中心とする史跡の宝庫となっています。まちの姿は変わりつつも、いつの時代でも地理的要衝の地にあり、その時々最新の生活文化が育まれ、金沢区の特徴をつくっています。人口は、平成18年以降緩やかに減少し高齢化が進んでいる状況です。金沢区心部（金沢文庫駅から金沢八景駅にかけてのエリア）では、まちづくりを進めるための3つの方策を設定した「金沢区心部まちづくり構想」を策定しています。

### 金沢区内施設・近隣施設の利用状況 【第1章-3】

金沢区内、隣接区、隣接市において文化活動に利用されている施設を対象とした利用状況を見ると、ギャラリーは、市内には100~200㎡の中規模の施設しかありませんが、中小規模のギャラリーの方が全体の平均稼働率は高くなっています。また、音楽練習スペースについては、10名以下の小規模、11~30名の中規模の方が大規模よりも平均稼働率が高くなっています。

### 金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要 【第1章-4】

#### ■金沢区における区民文化センター整備の基本的な考え方

文化面から見た金沢区の地域特性も踏まえ、金沢区における区民文化センター整備は、金沢区心部（金沢文庫駅～金沢区総合庁舎周辺～金沢八景駅のエリア）で、金沢区内の交通の拠点のひとつである金沢八景駅前から徒歩圏にある整備候補地での整備を検討します。

区民ニーズを踏まえ、区民に必要とされている機能を中心に整備を検討します。また同じ金沢区心部にある金沢公会堂等と場所や機能について連携することで、金沢区における文化芸術活動のより一層の充実を図ります。

#### ■整備候補地の概要

整備候補地は、金沢八景駅東口地区土地区画整理事業区域内2街区にある約800㎡の市有地としています。金沢八景駅からは徒歩2~3分の立地で、敷地の三面が道路に面しています。



## 金沢区における区民文化センターのめざす姿 【第2章】

金沢区における区民文化センターがどのような施設となることを目指していくか、その将来像をコンセプト（めざす姿）としてまとめました。このコンセプト（めざす姿）を実現するため、「重視する視点」、「望ましい機能」、「事業(施設)運営の方向性」を設定します。

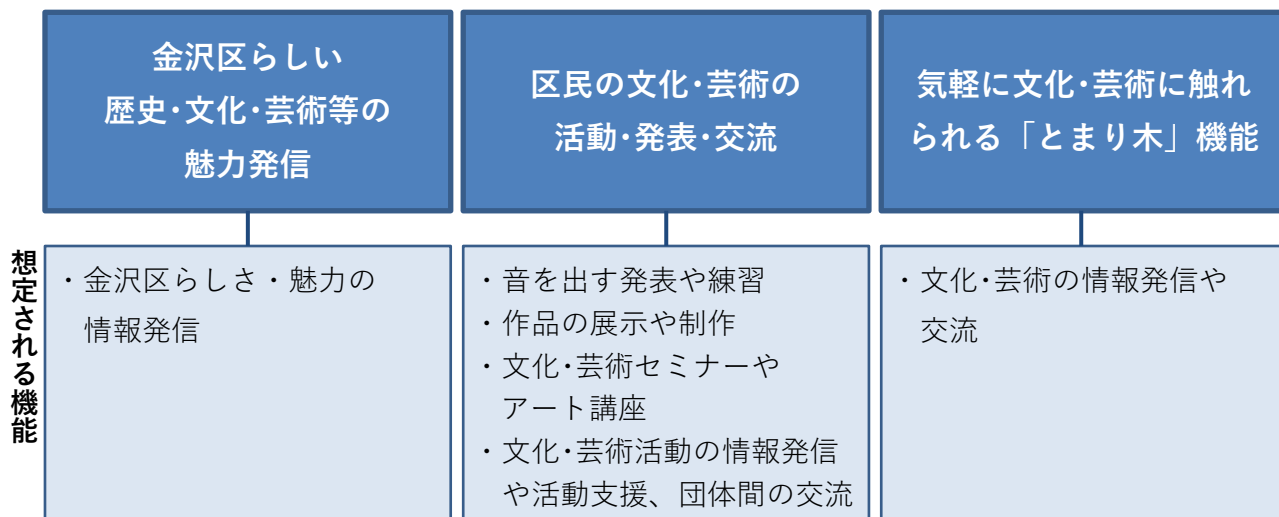
### ■コンセプト（めざす姿） 【第2章-1】

## 金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信

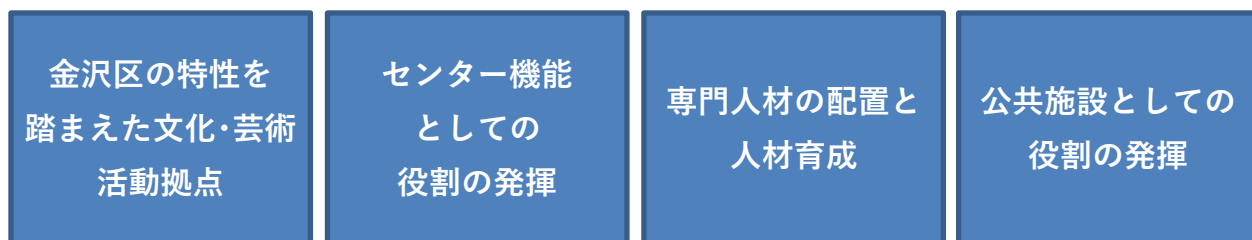
### ■重視する視点 【第2章-2】



### ■望ましい機能 【第2章-3】



### ■事業（施設）運営の方向性 【第2章-4】



■施設全体の考え方 【第3章-1】

コンセプト（めざす姿）を実現するとともに、単館での整備となるメリットを十分に発揮するために、街に開かれたデザイン、気軽に立ち寄れる雰囲気づくりの工夫、特に1階の機能配置や設えに十分に配慮した施設となることが望まれます。

区民の文化・芸術活動が街ににじみ出し、新たな交流が生まれるような雰囲気づくり、仕掛けづくりが重要となります。そのためには利用者だけではなく、目的がなくても一人でふらっと、いつでも立ち寄れるような区民に親しまれる区民文化センターになることが望まれます。

●施設全体における配慮事項

ニーズに合った  
諸室の規模・  
配置計画

- ・大規模なホールは金沢公会堂・講堂の利用が見込まれることもあり、区内の市民利用施設に不足している展示スペース（ギャラリー）や小規模な発表ができる諸室（音楽多目的室等）を配置することが求められています。
- ・文化・芸術活動団体の規模や利用者のニーズに合わせ、柔軟に対応できる諸室の設えが求められます。 ほか

みんなを迎える  
グランドレベル  
の設えと工夫

- ・金沢八景駅周辺のデザインガイドラインに則した、金沢区らしさを持った魅力的な外観となることが求められます。
- ・歩道から建物に入るまでのアプローチ等の屋外空間は、単なる通路としてではなく、誰でも気軽に立ち寄れる区民文化センターの顔として、可能な限りまとまりのある広さを確保して「とまり木」としての役割を発揮するとともに、様々な活用ができるように配慮することが望まれます。 ほか

やさしい設えと  
工夫・利用しや  
すい動線の確保

- ・誰もが安心・安全かつ快適に利用できるように、地上階から最上階まで段差なく移動できるなどのバリアフリー化、ユニバーサルデザインや感染症対策に配慮した施設とすることが求められます。また、デザインの工夫によるわかりやすい施設内表示とすることも望まれます。
- ・一般利用として利用される部分だけでなく、企画主催の利用者や指定管理者が使用するバックヤード等にも配慮し、資機材や作品等の搬入・搬出のための段差の無い動線、倉庫の大きさなどは、十分なスペースを確保することが望まれます。 ほか

駅前の立地特性  
を考慮した  
施設計画

- ・デザインの工夫などで近隣の防犯やプライバシーに配慮した計画に努めることが求められます。
- ・駅前の立地であることを考慮し、駐車・駐輪スペースは法令上必要な台数の整備とし、アプローチ等の屋外空間のスペースを確保することが望まれます。 ほか

■各諸室の考え方 【第3章-2】

各諸室の内容や整備にあたって配慮すべき点などについてまとめると、次のとおりとなります。

室名等	配慮事項
音楽多目的室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前室を備えた防音仕様とし、音楽や演劇、ダンス等の練習、発表ができる舞台性能及び音響性能を確保し、舞台音響・照明・機構を備える。</li> <li>・100～150席程度の来場者用椅子を並べることができ、あわせて小規模な舞台を設えられるスペースが望ましい。 ほか</li> </ul>

室名等	配慮事項	
防音室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 6～8名程度の少人数の楽器練習やバンド練習等がしやすい規模を想定し、2部屋程度を設け、前室を備えた防音仕様とする。</li> <li>・ 個人練習、軽音楽、バンド練習等を想定するが、映像撮影など音楽以外の音を出す活動に利用できるなど、幅広い活用ができる仕様とするよう配慮する。</li> </ul>	
ギャラリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 絵画、写真、彫刻、書、工芸、生け花などの創作活動の展示・発表ができる機能を備える仕様とする。</li> <li>・ 標準的な広さ・壁長を備えた規模とし、大型作品も展示できるような天井高さを確保する。また壁面にはピクチャーレールを備える。</li> <li>・ 可動式パーティション等により、部屋を分けて使ったり、展示壁面を確保したりできるなど、可変性のある活用ができる仕様とする。 <span style="float: right;">ほか</span></li> </ul>	
会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議、講演会・セミナー、創作ワークショップやアート講座など多機能での利用を想定し、25名程度が入れる広さで2部屋程度を設ける。可動式間仕切等により、2室を一体で利用できる等の可変性を備えた仕様とすることが望ましい。</li> <li>・ 創作ワークショップ等の利用や映像投影を想定して、ツヤなし・白色の壁を1面は備えるよう検討する。</li> </ul>	
情報コーナー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エントランススペースに隣接した外部から見やすい場所に配置し、気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気の設えとする。</li> <li>・ エントランススペースと一体的な活用などができるよう配慮した設えとし、「とまり木」機能としての役割を發揮できるように工夫する。</li> <li>・ 事務室と近接した配置とし、利用者同士の文化活動の交流やコーディネーター等専門人材との相談しやすい仕掛けと雰囲気づくりを目的として、ドリンク提供などカフェのようなコミュニケーションを促す運営及び什器等の設置を検討する。</li> </ul>	
エントランススペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気・設えとする。</li> <li>・ 金沢八景駅からアクセスしやすく、視認性の高い配置に配慮する。</li> <li>・ 情報コーナーに隣接した配置とし、一体的な活用などができるように配慮する。 <span style="float: right;">ほか</span></li> </ul>	
事務室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来館者がわかりやすい場所に受付等を配置するとともに、オープンな雰囲気で、気軽に相談等ができるよう配慮する。</li> <li>・ 打合せスペース等は、情報コーナーなど隣接するスペースと併せて柔軟な利用ができるような設え・什器の設置を検討する。</li> </ul>	
屋外施設	屋上スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋上を創作ワークショップ等で利用できるような設え・設備を検討する。</li> </ul>
	アプローチなどの1階屋外スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気軽に立ち寄りやすい開放的な雰囲気となるよう、特にアプローチなど1階屋外スペースとエントランススペース周辺は工夫した設えとする。</li> </ul>
	駐車・駐輪スペース	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 敷地の三面が道路に面しているため、駐車・駐輪スペースは歩行者や来館者にとって安全な配置・設えとする。 <span style="float: right;">ほか</span></li> </ul>

# 金沢区 区民文化センターニュース 第4号

発行：令和4年●月●日

## 第3回委員会を開催しました

11月14日（月）に第3回横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会が金沢区役所で開催されました。前回に引き続き、金沢区における区民文化センターの「望ましい機能」と「事業(施設)運営の方向性」を議論しました。

また、施設整備における施設全体の機能・構成についての考え方や配慮事項、各諸室の考え方などについて、議論、意見交換を行いました。



第3回委員会の様子

## 「望ましい機能」と「事業(施設)運営の方向性」について

金沢区における区民文化センターに「望ましい機能」と「事業(施設)運営の方向性」について、以下のような意見が交わされました。特に、「活動支援」というキーワードやSNSを利用した情報発信、コーディネート機能の重要性等について意見がありました。

### ■「望ましい機能」について

#### <活動支援機能>

- ・作業に使える事務サポートの機能があると良い。
- ・「活動支援」というようなキーワードがはいると良いのではないかな。

#### <項目の整理について>

- ・「区民の文化・芸術の活動・発表・交流」から想定される機能である「文化・芸術の情報発信や交流」と「気軽に文化・芸術に触れられる『とまり木』機能」から想定される機能である「文化・芸術の情報発信や交流」は、対象者が少し異なるので、明確にその違いを書き分けて表現した方が分かりやすい。
- ・「金沢区らしい文化・芸術、歴史・文化等の魅力発信」という項目は、文化が二度出てくるので、表現を整理した方が良い。

「望ましい機能」と「事業(施設)運営の方向性」及び「施設機能・構成について」(裏面参照)については、今回の議論を踏まえて修正、整理して確定版をまとめていきます。

### ■「事業(施設)運営の方向性」について

#### <情報発信の方法>

- ・若者を含めた様々な区民に知ってもらうためにはSNS (TikTok、YouTube等) の媒体を利用した情報発信が欠かせないので、機能としてあるべきではないかな。

#### <コーディネート機能>

- ・施設間の連携や共同企画開催等に関するコーディネート機能が重要である。
- ・コーディネーターについてはジェネラリストを求めるのではなく、文化・芸術分野のスペシャリストの配置や連携・協働で実現していくことを示した方が良い。

#### <ソーシャルインクルージョン>

- ・外国人の対応については、やさしい日本語で対応するという事が大切であるという考え方にシフトしてきている。

#### <項目の整理について>

- ・魅力発信としての連携、すみ分けという事と、施設間をマネジメントするような連携企画・運営という事は、分けて表現した方が良い。

## 「施設機能・構成について」議論しました

区民文化センターの「施設機能・構成」について、以下の様な意見が交わされました。利用者にとっての安心・安全に関することや使いやすさへの配慮などについて意見がありました。

### ■施設全体の設え等について

- ・まだウィズコロナの時代でもあるので、来館者の安心・安全を考えて、換気や消毒に関する配慮事項も必要ではないか。
- ・活動支援に関しては、印刷できる機能があると便利である。
- ・全館でWi-Fiを利用できるようにした方が良い。
- ・搬入口やバックヤードの動線については、段差がないという事が非常に重要である。

### ■屋外スペースの設え等について

- ・エントランススペース等のグランドレベルの設計が非常に重要であり、植栽デザインについてもアートに関わる点で重要であると考えます。
- ・屋上スペースは、屋外でのミーティングができるような設えがあると、カフェ的に利用できるのではないかと。
- ・建物にプロジェクションマッピングができると面白いのではないかと。

### ■カフェのようなコミュニケーションを促す運営や設え等について

- ・カフェという言葉が出てくるが、商業的なカフェではなく、自動販売機があって立ち寄れるくらいの場合であればイメージが違うのではないかと。
- ・例えば、スタッフが飲み物を提供するときにコミュニケーションや会話が生まれる。それがまさに「とまり木」機能であると思う。
- ・施設を利用しない人たちに使っていただくことを考えると、コミュニケーションをつくる場としてカフェ的な機能がよかった方がよいと思う。
- ・自動販売機の場合は、催しが無い場合は人が集まることはない。カフェのようなものがあると、それを目的に来る人もいますので、そこで交流が生まれたりする。

### ■各諸室の設え等について

- ・音楽多目的室では、客席と舞台に高低差ができる設えが良い。
- ・安心して利用するみんなのトイレや授乳室を整備すると良い。

## 第4回委員会を開催しました

12月15日（木）に第4回委員会が開催されました。確定した答申の概要は次号ニュースにてお知らせします。

## 委員会スケジュール

委員会は予定通り全4回を開催しました。委員会において決定した答申は市長へ提出されます。

### 第1回（実施済）

9月22日（木）  
基礎情報の共有及び基本的な方向性の確認、意見交換・議論

### 第2回（実施済）

10月17日（月）  
基本的な方向性、答申構成等についての議論

### 第3回（実施済）

11月14日（月）  
めざす姿、施設機能・構成等についての議論

### 第4回（実施済）

12月15日（木）  
答申案の議論・確定



区民文化センターについて、たくさんのご意見等をいただきましてありがとうございました。ご意見等は、委員会の進行にあたり参考とさせていただきます。改めてお礼申し上げます。

発行：横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会事務局（横浜市金沢区区政推進課）

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀二丁目9番1号

電話：045-788-7729 FAX：045-786-4887 E-mail：kz-kusei@city.yokohama.jp

ホームページ：[https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/machizukuri\\_kankyo/machizukuri/kubunkentou.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/kubunkentou.html)





# 金沢区 区民文化センターニュース 第5号(案)

発行：令和5年●月●日

## 「横浜市金沢区における区民文化センター基本構想 答申」がまとまりました！

昨年12月15日に開催された第4回横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会において、「答申（案）」について議論し、「答申」としてまとめました。

●月●日に、委員会から横浜市に「横浜市金沢区における区民文化センター基本構想 答申」を提出しました。今後は、この答申を踏まえて、横浜市が基本構想を策定する予定です。



委員長から区長へ答申書を手渡す様子

## 答申の構成について

答申は下記のとおり大きく3つの章で構成されています。特に、第2章と第3章では金沢区における区民文化センターのめざす姿や施設機能・構成について整理し、今後の施設整備に向けて配慮されるべきことについてまとめています。

### ■答申の目次構成

#### はじめに

#### 目次

#### 第1章 区民文化センター整備の検討にあたって前提となる事項

- 1 横浜市の区民文化センターの概要
- 2 金沢区の概要と特性
- 3 金沢区内施設・近隣施設の利用状況
- 4 金沢区における区民文化センター整備の考え方と候補地の概要

金沢区の概要・状況や  
整備候補地の概要など  
前提となる事項を整理しています

#### 第2章 金沢区における区民文化センターのめざす姿について

- 1 コンセプト（めざす姿）
- 2 重視する視点
- 3 望ましい機能
- 4 事業（施設）運営の方向性

金沢区における区民文化センター  
整備の基本的な方向性について  
整理しています

#### 第3章 金沢区における区民文化センターの施設機能・構成について

- 1 施設全体の考え方
- 2 各諸室の考え方

施設全体や各諸室における配慮  
事項等について整理しています

#### 参考資料

## 金沢区における区民文化センターのめざす姿について

金沢区における区民文化センターがどのような施設となることを目指していくか、その将来像をコンセプト（めざす姿）としてまとめました。このコンセプト（めざす姿）を実現するため、「重視する視点」、「望ましい機能」、「事業(施設)運営の方向性」を設定します。

### 金沢区における区民文化センターの基本的な方向性

#### コンセプト（めざす姿）

金沢区らしい、まちに開かれた、文化・芸術の創造・発信

#### 重視する視点

歴史と文化の  
息づく、金沢区  
らしさ・魅力発信

身近な  
文化・芸術  
の創造

多様な人々・  
多彩な分野の  
文化・芸術活動

あらたな  
文化・芸術活動の  
きっかけづくり

街に連なる・  
街に開かれた  
文化・芸術活動  
の拠点

#### 望ましい機能

- ・金沢区らしい歴史・文化・芸術等の魅力発信
- ・多彩な文化・芸術の活動・発表・交流
- ・気軽に文化・芸術に触れられる「とまり木」機能

#### 事業(施設)運営の方向性

- ・金沢区の特性を踏まえた文化・芸術拠点
- ・センター機能としての役割発揮
- ・専門人材の配置と人材育成
- ・公共施設としての役割の発揮

### 区民文化センター開館までの流れ

令和5年3月までに横浜市で基本構想を策定する予定です。令和5年度以降、建物等の設計、工事を進めていく予定です。

基本構想  
答申

基本構想  
の策定

建物等  
の設計

建物等  
の工事

開館



基本構想（答申）の詳しい内容や整備の進捗状況については、下記の金沢区ホームページをご覧ください。

発行：横浜市金沢区における区民文化センター基本構想検討委員会事務局（横浜市金沢区区政推進課）

〒236-0021 横浜市金沢区泥亀二丁目9番1号

電話：045-788-7729 FAX：045-786-4887 E-mail：kz-kusei@city.yokohama.jp

ホームページ：[https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/machizukuri\\_kankyo/machizukuri/kubunkentou.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kanazawa/kurashi/machizukuri_kankyo/machizukuri/kubunkentou.html)



★ 政策の目標

文化芸術体験を通じて、子どもたちの創造性や感受性が育まれています。また、地域の文化拠点の機能強化を進め、身近な場で文化芸術に触れることのできる機会を提供することで、あらゆる人の豊かな生活と、誰もが対等な関係で関わり合える共生社会の実現に寄与しています。さらに、横浜の特色ある文化財等の価値を市民が享受する機会の創出などにより、市民の学びの環境が充実しています。

現代アートの国際展など多彩なアートイベントや文化芸術関連施設等の魅力の発信、歴史的建造物等の活用、光と音楽による横浜ならではの夜景の創出により、来街者が増加するとともに、にぎわいと文化芸術創造都市としてのプレゼンスが向上しています。

■ 政策指標

「身近な地域において、気軽に文化芸術活動に参加できる機会・場が充実している」と感じている市民の割合

直近の現状値	目標値
52.3%	61.5%

■ 関係するSDGsの取組



芸術文化教育プログラムの実施校数・参加者数の推移

	H30	R 1	R 2	R 3
実施校数 (校)	142	145	126	139
参加者数 (人)	14,091	14,306	10,714	12,823

【出典】横浜市文化観光局

■ 現状と課題

- 次世代を担う子どもたちの創造性や感受性を育むためには、多様な文化芸術体験を提供する必要があります。共生社会の実現に向けて、障害の有無等にかかわらず、文化芸術に触れることのできる機会を提供することが求められます。また、市域に残る多様な文化財等の保存・活用も必要です。
- 令和2年度は、コロナ禍で各国の国際展等が中止や延期となる中でも、現代アートの国際展「ヨコハマトリエンナーレ2020」を感染症の対策を十分に講じて開催するとともに、展覧会のバーチャルツアーやオンラインガイドなど新たな取組を行い、評価されました。
- 国内外におけるプレゼンスの向上のため、多彩なアートイベント等を効果的にプロモーションしていく必要があります。



親子のフリースゾーン  
撮影：御厨慎一郎

◎ 主な施策

1	文化芸術を通じた次世代育成と共生社会実現に向けた取組	主管局	文化観光局
	学校や文化施設において、子どもたちの創造性や感受性を育むための文化芸術体験等の次世代育成や、障害の有無・国籍・居住エリア等にかかわらず、文化施設や身近な地域で、誰もが文化芸術に触れる機会を充実させます。		
2	文化芸術による街のにぎわいの創出と国内外への発信	主管局	文化観光局
	現代アートの国際展横浜トリエンナーレや、市民参加などによる多彩なアートイベント等を開催することで、横浜の魅力を国内外へ発信し、プレゼンスの向上、にぎわいの創出を図り、文化芸術創造都市を推進します。		
3	歴史と創造性を生かしたまちづくり	主管局	文化観光局、都市整備局、教育委員会事務局
	創造界隈拠点などの歴史的建造物等を活用した魅力的なまちづくりを推進します。あわせて、都心臨海部の景観を先端技術による光と音楽で演出するなど、横浜ならではの夜景をまちぐるみで創出します。また、「横浜市文化財保存活用地域計画」に基づき、横浜に残る多様な文化財等の保存・活用を効果的に進め、市民の学びの機会の充実を図ります。		
4	市民の文化芸術活動への支援と環境整備	主管局	文化観光局
	鑑賞、創作、体験、発表の機会の充実を図り、地域の活性化につながる文化芸術活動を支援します。また、地域文化芸術活動の拠点となる区民文化センターは、未整備区を対象に、再開発等まちづくりの機会に合わせて、区内公共施設の状況を踏まえ必要な機能の検討・整備を進めます。		

施策指標	芸術文化教育プログラムへの子どもたちの参加者数	【直近の現状値】	【目標値】
		12,823人/年	15,200人/年
施策指標	アートイベントの来場者数	【直近の現状値】	【目標値】
		18.2万人(4か年)	29.7万人(4か年)
施策指標	港の夜景の演出参加施設数	【直近の現状値】	【目標値】
		27施設/年	45施設/年
施策指標	文化施設の稼働率※	【直近の現状値】	【目標値】
		73%/年	80%/年

※ 所管する施設のうち、休館中の施設を除く平均稼働率